

たけ 田

広報

Taketa Public Relations



↑ユルゲン・エルンスト国際メンデルスゾーン基金事務総長から「ライブツィヒ賞」と「メンデルスゾーンの胸像」を贈呈される野田さん



今年は熊本県代表、熊本市立必由館高等学校3年の野田桜子さんが第1位に輝きました→

『たきれん』優勝者が縁のドイツ・ライブツィヒ市へ —— 今なお生き続ける! 瀧廉太郎の「夢」

「瀧廉太郎記念全日本高等学校音楽コンクール」の優勝者には瀧廉太郎賞として、ウィーン短期留学助成金が贈られます。加えて、今年は廉太郎の留学先という縁で後援していただいているライブツィヒ市から、「優勝者を招待すること」が発表されました。果たせなかった「夢の続き」を受け継ぐ、音楽家の活躍を夢見て…。

故 渡辺嘉造伊・日本メンデルスゾーン協会初代理事長が橋渡しをした「友情のバラ」(瀧廉太郎記念館) H24.11月撮影





〔写真説明〕①歌唱順を決める抽選会 ②開会式で代表校紹介 ③ドイツからのゲストを紹介 ④歓迎レセプション「自己紹介タイム」で交流を深める ⑤レセプションの締めは「荒城の月」を全員合唱。翌日の健闘を誓う ⑥奥山仙台市長の親書を届けてくれた早坂卓くん(仙台市代表) ⑦ライプツィヒ市からの親書を紹介する首藤市長 ⑧最高の伴奏のために、調整する調律師 ⑨審査員席の先生方 ⑩地元の食材で調理する婦人会のみなさん ⑪練習会場 ⑫実行委員によるカフェが好評 ⑬本選に進んだ10名 ⑭会場のくじゅうサンホール ⑮留学報告演奏会 ⑯結果を待つ観客席 ⑰ユルゲン・エルンスト国際メンデルスゾーン基金事務総長 ⑱瀧廉太郎の妹・スミの孫にあたる浅野喜代子さん ⑲伊藤京子審査委員長の講評 ⑳表彰式 ㉑第2位の山岸裕梨さん ㉒会場が一体となって「荒城の月」大合唱でフィナーレ

第1位の野田桜子さん
(伴奏者・岩切舞子さん)

第67回瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール(10/18~20)開催

希望に満ちた歌声、心に響く

全国から出場された33名の熱唱が今年も素晴らしい『感動』を与えてくれました。

「3年間、この大会の出場が目標でした。(本選は)これまで支えてくれた母親や指導し

て熊本県だっけ？」と動揺したほど、結果を予想してなかったそうです。

第1位に呼ばれた瞬間、「私って熊本県だっけ？」と動揺したほど、結果を予想してなかったそうです。

審査の結果、野田桜子さん(熊本市立必由館高等学校3年・17歳)が今年の第1位に輝きました。野田さんには文部科学大臣賞やライプツィヒ賞はじめ、後援団体各賞、瀧廉太郎賞としてウィーン留学助成金60万円が贈られました。

本選が終了した10月20日正午過ぎ、ステージでは、昨年優勝者の山田晃也さん(鹿児島国際大学国際文化学部音楽科1年)と寺島弘城さん(東京藝術大学音楽学部1年)がウィーン留学報告演奏会として、成長した歌声を披露してくれました。



↑全国から33名の高校生が出場しました

もくじ

- 第67回瀧廉太郎記念全日本高等学校
声楽コンクール……………2
- 特集・歴史文化姉妹都市 茨木市…4
- 農業情報……………9
- 企画情報 第2回フェアツーリズム
国際大会／東京・赤坂に竹田市東京
オフィス開設ほか……………10
- 税務情報 個人住民税、給与からの
特別徴収ほか……………12
- 住民監査請求公表／竹田市人権擁護
委員……………13
- 市長コラム「有由有縁」⑤……………14

別冊 たけたん情報

11月のこよみ・TCT特番情報
別冊 たけたん国保情報

- TAKETAN FACE今月のひと 工藤えみ…15
- 竹田かわら版 TOWN TOPICS…16
- 健康一直線・保健だより「地域で支える
「糖尿病の療養」……………18
- ミステリアス!竹田キリシタン⑩ 大阪茨木編/
大分竹田南蛮文化シンポジウム……………20
- たけたんアンテナ パート・クロツイン
ゲンコーナー／生き活き興起/
竹田雑感／今月の食育レシピ……………22
- 今月のイントロダクション ぼくたち・
私たちの学び舎(直入幼稚園)／まる
ごと博物館⑦／図書館のおしらせ/
ブクサン……………24
- 岡城遺産⑦／誕生おめでとう……………26
- 第65回画聖「田能村竹田」先生を
しのぶ美術祭・紙上作品展……………27
- 郷土の植物／すくすく1歳/アツパレ!
100歳……………28

人口のうごき

(前月比)

人口 24,320 人(-36人)
男性 11,309 人(-21人)
女性 13,011 人(-15人)
世帯数 10,638世帯(-11世帯)
住民基本台帳登録人数
(平成25年9月30日現在)



↑「27年ぶりの竹田です。嬉しいですね」。活水高等学校3年(長崎県)の富永果捺子さんの母親・宏美さん(旧姓・村岡)が昭和61年の大会に出場しており、親子二代で本選出場を果たしました!



第67回瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール結果

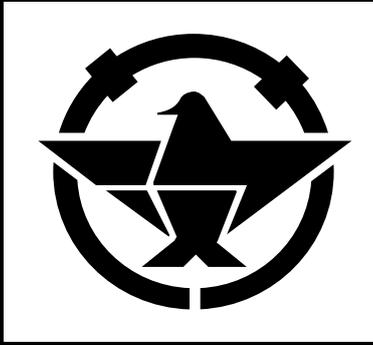
- | | | |
|-----|-------------------------|-------|
| 第1位 | 熊本市立必由館高等学校3年(熊本県) | 野田 桜子 |
| 第2位 | 名古屋市立菊里高等学校2年(愛知県) | 山岸 裕梨 |
| 第3位 | 岡山県立倉敷青陵高等学校2年(岡山県) | 岡 友一 |
| 優秀賞 | 宮城県仙台南高等学校3年(姉妹都市仙台市代表) | 早坂 卓 |
| | 島根県立松江東高等学校2年(島根県) | 渡邊美沙季 |
| | 宇都宮短期大学附属高等学校3年(栃木県) | 荒川 茉捺 |
| 優良賞 | 香川県立坂出高等学校2年(香川県) | 森實あかり |
| | 活水高等学校3年(長崎県) | 富永果捺子 |
| | 三重県立四日市南高等学校3年(三重県) | 西田 昂平 |
| | 鹿児島県立松陽高等学校3年(鹿児島県) | 市来 美佳 |

※優秀賞、優良賞は本選歌唱順(敬称略)

この「音楽のまち竹田」は、瀧廉太郎の「夢」を受け継いでくれる若き音楽家の誕生をこれからも見届けていくことでしょう。

瀧廉太郎の留学先が縁となり、ユルゲン・エルンスト国際メンデルスゾーン基金事務総長(メンデルスゾーンハウス館長)が今年の優勝者に、ドイツ・ライプツィヒ市へ招待することを伝えました。瀧廉太郎の夢を受け継がれる、新しい扉がまたひとつ開かれました。

「てくれた先生をはじめ、関係者みなさんに感謝を込めて歌うことができました。来年のウィーン留学では、音楽の都ウィーンの町の風を感じてみたい。将来は世界で活躍できる歌手になりたいです!」



茨木市章

1948年8月31日制定。
「茨」の字を図案化したもので、中央に平和の象徴である鳩を表しています。

茨木市 IBARAKI CITY



市の花「バラ」



市の木「カシ」

面積 76.52km²
総人口 277,449人（平成25年9月末現在）
特産品 大甘青とうもろこし、ウド、花苗、赤しそ

茨木市は、淀川の北、大阪府の北部に位置し、東西10.07km、南北17.05kmと東西に短く、南北に長い地形をしています。

市内には、名神高速道路、近畿自動車道、国道171号、大阪中央環状線など多くの国土幹線や広域幹線道路が走るほか、北部地域では、新名神高速道路のインターチェンジの建設が計画されています。鉄道はJR東海道本線と阪急京都線が併走し、市内を走る大阪モノレールには、本線と彩都線を合わせて6駅（宇野辺・南茨木・沢良宜・阪大病院前・豊川・彩都西）が設けられており、平成30年春には（仮称）JR総持寺駅の開業が予定されています。

多くの広域幹線軸が交差する交通の要衝にある茨木市は、北大阪地域の中核都市として発展し、交通の利便性等を活かした「住み続けたいまち」として成長してきました。

さらに、立命館大学の進出や国際文化公園都市（彩都）、安威川ダムの建設等と併せてまちの活性化を図り、将来の発展を見据えながら、活力のある夢があふれるまちづくりに向けて取り組んでいます。



題字・草刈権峰（書家）

大阪府茨木市と竹田市は、歴史文化姉妹都市を提携。大阪府北部に位置している茨木市は、本市と歴史・文化の分野において、深い関わりのある市です。
今月号では、3つのキーワードからみる本市との関わりと、観光や文化など、「茨木市」の魅力をご紹介します。



↑国史跡郡山宿本陣（樁の本陣）
京都と西国を結ぶ重要路「西国街道」沿いにある郡山宿本陣は、江戸時代には参勤交代の宿泊や休憩に利用され、重要な役割を果たしました。

歴史・文化

1 万年以上もの昔から人々の活動がうかがえる茨木市。

日本でも有数の古墳群地帯で、古墳時代の初期から末期までの各時期の古墳が現存しています。

先人の足跡をしっかりと受け継ぎ、今日の礎となっています。



↑春日神社石燈籠
〔国指定文化財〕



↑銅鐺の鋳型
〔国指定文化財〕



↑太田茶白山古墳
〔継体天皇陵〕

希望と活力に満ちた文化のまち「茨木市」には
まちの魅力と、市民の笑顔があふれています。

ええやん！
いばらき



いばらきの四季

茨木市内で行われる主な行事です。

いばらきの春（3月～5月）

- ・郡山宿本陣春の特別公開（3月上旬）
- ・市民さくらまつり（4月上旬）
- ・総持寺の庖丁式（4月18日）
- ・春のバラが見ごろ（5月中旬から）

いばらきの夏（6月～8月）

- ・ホテル観賞会（5月下旬頃から6月初旬）
- ・竜仙峡のアユ釣り解禁（6月上旬）
- ・赤しその収穫（6月中旬）
- ・あじさいが見ごろ（6月下旬）
- ・茨木神社の輪くぐり神事（6月30日）
- ・大甘青とうの収穫（7月中旬から10月下旬）
- ・茨木フェスティバル（7月の最終土・日曜日）
- ・ミニトマト「あまっこ」の収穫（8月上旬～10月中旬）
- ・弁天さんの花火大会（8月8日）
- ・キツネノカミソリが見ごろ（8月中旬）

いばらきの秋（9月～11月）

- ・秋の七草展（9月上旬）

- ・いも掘り園開園（9月中旬～11月上旬）
- ・彼岸花が見ごろ（10月ごろ）
- ・黒井の清水大茶会（10月中旬）
- ・みかん園開園（10月下旬～11月下旬）
- ・秋のバラが見ごろ（10月下旬～11月上旬）
- ・いばらき環境フェア（10月中旬）
- ・郡山宿本陣秋の特別公開（11月上旬）
- ・竜仙峡のアマゴ釣り解禁（11月上旬）
- ・農業祭（11月中旬）
- ・阿為神社で蹴鞠の会（11月23日）
- ・イルミネーション点灯（11月下旬から2月初旬）

いばらきの冬（12月～2月）

- ・消防出初式（1月上旬）
- ・春の七草展（1月初旬）
- ・茨木十日戎（1月9日～11日）
- ・成人祭（1月第2月曜日）
- ・三島ウドの出荷（2月上旬）
- ・梅が見ごろ（2月中旬～下旬）

観光・自然

豊かな自然が残る山並みや農村風景は、散策・ハイキングコースにも恵まれています。また、市の花バラを植栽した美しい「バラ園」。観光農業として、シーズンにはいも掘りやみかん狩り、アユ釣り等が楽しめます。



↑若園公園バラ園



↑棚田風景



↑みかん狩り



竹田ライオンズクラブ会長 **赤座 昭義さん**

昭和57年、茨木市梅林寺にて、中川清秀公400年祭が開催され、本市各界より60名が参加しました。平成2年、茨木L.Cと竹田L.Cの間で「友好クラブ」締結。平成9年、「姉妹都市クラブ」を締結。以来、交流の頻度も高くなりました。

昨年竹田で行われました岡藩城下町400年祭が契機となり、『歴史文化姉妹都市』の調印が行われることになりました。私どものクラブのみではなく、竹田全域の経済振興と民間交流の推進に役立つことになればと思います。



茨木にゆかりがある竹田市民
能勢 昭二さん・隆子さん夫妻（川向）

中川秀成の家来の末裔という能勢昭二さん(86歳)・隆子さん(83歳)夫妻。先祖代々の墓は、岡城跡の方角を向いているそうです。

敬虔なキリシタンとして育ったであろう中川清秀公。能勢さんもキリスト教を信仰しています。「『歴史文化姉妹都市』を締結することになってうれしいですね。以前我が家のルーツを知りたくて、関西方面を訪問したことがあります。今後、交流をきっかけに、竹田市でもキリシタンの歴史文化の正しい理解が広がることを期待したいですね。」

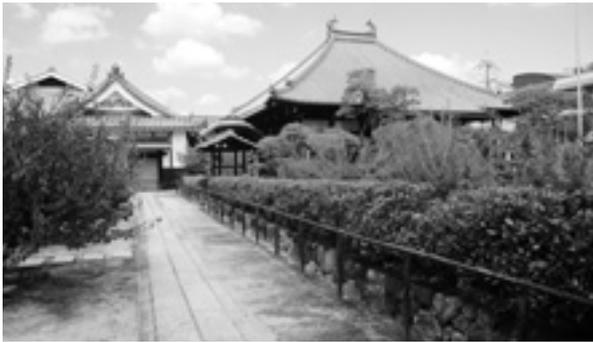


竹田市出身の茨木市民 **阿南 啓二さん**

高校卒業まで竹田市で過ごした阿南さん。岡城跡で花見をしたり、白水の滝のあたりで川遊びなどが好き思い出。時報や駅の音楽で流れていた荒城の月を聞くと故郷を思い出そうです。

「茨木市には、11年前に仕事の都合で引っ越してきました。子育て・教育が充実していて住みやすいので来てよかったです。竹田はあまり有名ではありませんが、景色はすごく良いですし、水も食べ物もおいしいです。ぜひ茨木市の皆さんも竹田に興味を持ってもらいたいですね。」

つなぐ——茨木と竹田に縁のある人たち



↑梅林寺

茨木城主の中川清秀は天文11(1542)年摂津国島下郡中河原にて誕生、幼名虎之助。元龜2(1571)年、白井河原(茨木市)の戦で大功をたて、清秀は茨木城6万石余の城主になります(31歳)。織田信長の家臣として仕え活躍し、茨木12万石を賜りました。天正10(1582)年6月に本能寺で信長が明智光秀によって滅ぼされ、光秀軍と秀吉軍が山城国山崎(京都)で激突(天王山の戦)の際に、清秀は第二陣として、兵数4(250

0)を率いて茨木城を出陣し、天王山の山上を占拠します。善戦して光秀軍を破り、軍功をあげました。翌年の天正11(1583)年、近江国賤ヶ岳を中心として秀吉と柴田勝家が激突します。清秀は秀吉の命を受け、再び茨木城より出陣。大岩山に砦を築き、700の兵と共に立てこもります。迎えた4月20日、勝家の武将・佐久間盛政の大軍の急襲にあい、激闘10時間の末、ついに清秀は自害し、家臣もろとも玉砕しました。享年42歳でした。遺髪は茨木城にもたらされ、

キーワード①

なか がわ きよ ひで 中川清秀公



↑中川清秀公の肖像画(梅林寺蔵)



歴史文化 姉妹都市

御祝いのメッセージ

大阪茨木にございます太田中川清秀公の菩提寺梅林寺の住職でございます。今般の竹田・茨木両市の歴史文化姉妹都市の締結にあたって一言御祝いの言葉をお送り申し上げます。

長年にわたる両市のライオンズクラブのご交流が実を結び、また歴史研究家の皆様や心ある市民の皆様方の熱い思いがようやくこの姉妹都市の締結にたどり着いたものと存じます。

歴史は偶然のものではありません。その時代を一生懸命生きてきた人々の、その生きたあかしが必然となって歴史を作り動かします。茨木城主であられた太田清秀公がその武勇をもって天下に名を知らしめ、その子秀成公が竹田岡城に初代藩主として城下を治め、十三代綿々として明治維新を越え、なお中川家は脈々と存続されております。そして茨木の地から播州三木や

そしてはるばる竹田へと、主君と運命をともになされた一族郎党ご家族衆四千人も同じであります。その多くの方々が茨木に出自を持たれます。その方々が今の竹田を築き上げる礎となつてこられた事を思いますと、「竹田と茨木はまさに血をわけ

た兄弟姉妹である」と確信いたします。本当に同族の血が流れているのです。お会いしたことはない遠い親戚がお互いにたくさん住んでいるのです。

四百年以上の時間と空間を越えて、いまようやく再び深い絆を結ぶことはこの上なく喜ばしく目出度いことで、このたびの歴史文化姉妹都市こそ正しく歴史の必然であるように思えてなりません。

今後の両市の交流が実り多いものとなって、新しい歴史文化の1ページが開かれるようにお祈り申し上げます。

最後にこの必然を現実のものにして下さった関係各位に心から敬意を表し、心から御祝い申し上げます。

首藤竹田市長、木本茨木市長をはじめ両市会議員の皆様、行政の皆様、歴史交流を深めて下さった市民の皆様、そして特に必然の糸をたぐり寄せていただいた両ライオンズクラブの皆様、心から御祝い申し上げます。本当におめでとうございました。

茨木市 梅林寺住職

横内 弘隆

「竹田市と茨木市歴史文化姉妹都市締結」にあたって

今回、竹田市と茨木市とが歴史文化姉妹都市締結をする運びになったことを心からお慶び申し上げます。

竹田市教育委員会編の『中川氏御年譜』（平成19「2007」年3月31日発行）によりますと、中川清秀は、元龜3（1572）年9月に、茨木佐渡守重朝の居城であった茨木城を奪ったこと、ついで天正6（1578）年には、当時織田信長の領地となっていた茨木を支配していたことが記されています。

清秀は最後に、天正11（1583）年、賤ヶ岳で柴田勝家の甥佐久間盛政に敗れ、大岩山の山頂で切腹したことは、よく知られている通りであります。その間ずっと織田信長の下で茨木の支配者だった清秀は、秀吉より上位の武将として活躍するのですが、この時代の茨木の支配者としての清秀のことはあまり知られていないように思われます。

城主として茨木城にいた間の彼の領地支配の実態はどのようなものだったのでしょうか。

菩提寺である梅林寺に葬られました。墓石は梅林寺境内の墓地にあります。玉碎の報を受けた秀吉は、すぐ大岩山に向かい逆襲。柴田軍は敗走。勝家は自害します。この一戦にて秀吉の天下統一の幕が落とされたのでした。この時の清秀の奮戦と功績が買われ、秀政（清秀の長男）に後を継がせました。

天正13（1585）年大坂城が完成。秀吉の御居城により、

摂津茨木が直轄領となると、秀政は1万石加増され、播磨三木城（兵庫県三木市）に所替えとなりました。

秀政は文禄元（1592）年3月25日、秀吉の命を受けて、朝鮮征伐に出陣します。各地にて善戦し、功をたてて水原城に入りますが、戦いの合間に鷹狩りに出かけたところを敵兵の毒矢に襲われ息を引きとります。その後、中川家では事実を隠蔽



↑秀吉書簡（梅林寺蔵）



↑梅林寺（岡藩の家紋）



↑清秀墓（梅林寺）S.8再建



↑復元された茨木城櫓門（茨木小）

また、清秀の死後、家督を継いだ長男中川秀政は、豊臣秀吉の朝鮮出兵に伴って参戦し、かの地の水原城の近くで鷹狩りをしている時に、敵のゲリラに襲われて命を落とします。戦闘の最中にのんびりと鷹狩りをして命を落とすとは大将にあるまじきことであると秀吉の逆鱗に触れ、本来ならお家取り潰しになるところを、父清秀の功労に免じてということで、九州竹田に転封になります。その時、家督を継いだ次男秀成は、一族郎党約4000名と共に竹田に入ったと書かれています。その後茨木に残っていた家臣とその家族などが入ってきます。現在でも茨木の時の苗字をそのまま使用されている方々が竹田に残っておられると聞きました。関西からさまざまな風俗習慣を持ち込んだと思いますが、その影響が何かの形で残っているのでしょうか。

今回の竹田市と茨木市との「歴史文化姉妹都市締結」を機会に、さまざまな調査研究がなされて、私がついていく前のような疑問を含め、多くのことが明らかにになり、両市の歴史文化に関する有意義な締結になっていくことを期待しています。

中川 久定

中川久定 なかがわひさやす
竹田市名誉市民・中川家第18代当主
フランス文学者。文学博士。京都大学名誉教授。
日本学士院会員。



し戦死と取り繕おうとしましたが露見し、秀吉の怒りを買います。弟の秀成に家督相続を認めましたが、遺領の半分、播磨三木城6万6千を継いで、秀吉に仕えることとなりました。

秀成は文禄2（1593）年2月、秀吉から豊後岡に6万6千石の所領を与えられ移封します。

以上のような歴史的な過程を経て、『茨木』〜『三木』〜『竹田』へと移り変わった時代。これより中川家と岡城の277年の歴史が始まることになりました。

※今月号の「岡城遺産」（26頁）も「中川清秀公」を取り上げています。ぜひ一読ください。



↑白井河原合戦跡

キーワード②

キリシタン



山奥には人々の信仰を匿う「心」があった

茨木と竹田は、隠れキリシタンの里として有名です。かつては共にキリシタン大名によって治められた地域であり、日本のキリスト教布教地の重要な拠点でした。

しかし、豊臣秀吉はキリシタン宗の布教を厳禁し、また徳川幕府も禁教令を發布したため、信者らは隠れて信仰を続けていました。

先人たちが頑なに守り続けた信仰の証として、貴重な遺物が発見されました。



↑茨木市立キリシタン遺物史料館



→マリア十五玄義図（府指定文化財）



→千提寺の民家から発見された「聖フランシスコ・ザビエル像」

茨木市北部（千提寺・下音羽地区）の高山右近旧領に、大正時代まで発見されなかった隠れキリシタンの家々があり、ある旧家は信仰の品々を入れた「あけずの櫃」を長男にのみ伝承し、誰にも見せませんでした。

その中からは、あの有名な「聖フランシスコ・ザビエル像」（現在「神戸市立博物館」蔵・国指定重要文化財）もこの地域の旧

キーワード③

川端文学



時空を超えてつながる、文豪の故郷と「有由有縁」の地

家で発見されています。

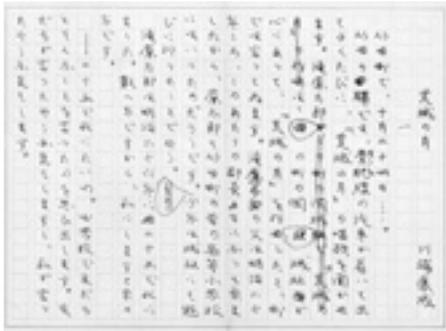
「茨木市立キリシタン遺物史料館」では、聖書の教えを絵画にした「マリア十五玄義図」(レ

プリカ) (府指定文化財) をはじめ、発見された隠れキリシタンの貴重な資料を展示しています。

ノーベル文学賞を受賞した

文豪川端康成は、茨木市名誉市民です。康成は幼児期から旧制中学校卒業期まで茨木で暮らし、故郷を舞台にした作品も多数残されています。

また、「川端康成のゆかりのふるさと」として、川端康成やその文学に親しむ拠点となる「茨木市立川端康成文学館」があり、貴重な資料が展示されて



↑「荒城の月」(川端康成直筆原稿)

います。

竹田との縁は、昭和27年10月27日から28日にかけて、久住高原から竹田の城下町を訪れた取材旅行です。28日には竹田高校で講演されています。康成は、翌28年6月にも熊本での文学講演会の帰りに、単身で竹田を訪れています。この2回の取

こうした歴史を踏まえ、竹田市では平成21年から「川端康成記念講演会」を開催していま

また、昨年は岡藩城下町400年記念事業として、九州では初となる「川端コレクション」が竹田の地で開催されました。



↑川端康成旧宅跡



→茨木市名誉市民川端康成氏

これから広がる「歴史文化交流」

初代岡藩主の中川秀成公が竹田城下町の建設を手掛けてから400年。昨年茨木市と「歴史文化交流パートナーシップ」を結び、わずか1年後に「歴史文化姉妹都市」へと発展。両市のつながりが一気に深まりました。

今後も「歴史文化」を活かしながら、さらなる市民交流の発展を目指します。



竹田の民芸品「姫だるま」



茨木市の民話「茨木童子」

「新技術習得チャレンジ事業」を創設

農業の新技術習得を 応援します！

市場における消費者の農業生産物に対するニーズは、日々刻々と変化しています。

また、取り巻く生産状況も気候変動等により、これまでどおりの肥培管理技術だけでは困難となってきました。

そこで市では、新たに「新技術習得チャレンジ事業」を創設し、農業技術を習得するにあたって必要な研修費等の助成を行い、前向きにチャレンジする

生産者の方の支援を行っていきます。

対象となる方は、市内に居住する農業後継者や新規就農者等で、認定農業者または認定農業者等を指す方となります。

支援の内容は、3日以上30日未満の短期研修（上限11万円）と、30日以上長期研修（上限17万5千円）の2種類で、それぞれ謝礼・資料代・交通費・宿泊費等の経費の2分の1を補助

助します。（短期研修には農産加工も含む）

なお、この事業を実施する場合、事前に研修計画書を提出していただき、審査の上事業の対象を決定することとなります。

詳しい内容につきましては、お問い合わせください。

●お問い合わせ

- 竹田市農政課 農業振興係 ☎6314805
- 竹田市荻支所 産業建設課 ☎6812215
- 竹田市久住支所 産業建設課 ☎7611115
- 竹田市直入支所 産業建設課 ☎7512214

平成26年度

「一般社団法人とまと学校」 農業研修生募集

竹田市内での就農を支援するために、後継者や新規就農希望者を研修生として募集します。

実際に耐久性ハウス施設（45㎡）を使用し、各機関と連携しながらトマト栽培の勉強をすることができます。

- 研修期間 約2年間(トマト栽培期間)
- 研修場所 竹田市荻町
- 研修要件
 - ・市内で就農可能な方（通勤の可能な方）
 - ・研修終了後、トマト部会員として就農できること。
 - ・概ね45歳以下の健康で農業に対する意志と意欲のある方

募集期間 若干名（選考採用）

その他 期間中は研修生1名あたり、研修費（月12万5千円程度）を支払う予定

●お問い合わせ

一般社団法人とまと学校
Eメール：m-tomato@oct-net.ne.jp
豊肥振興局 ☎63-3117
竹田市農政課 ☎63-4805

「YOU花」に国土交通省から感謝状

久住花の会「YOU花」（川越竣市会代表・178人）は長年の道路美化清掃に努めた功績が認められ、8月の道路ふれあい月間にあたり、国土交通大臣から感謝状を授与されました。

美しい彩りを添えて、久住を訪れる方にもっと喜んでもらうと、「YOU花」は平成2年に設立され、まもなく結成25年目を迎えます。

久住地域内には現在40か所の花壇があり、各地区の会員が担当しています。

春と初夏の2回は植栽。今の時期はサルビア、マリーゴールド

ド、千日草が美しい花を咲かせています。

「長年、続けてきてよかったと思います。久住地域の環境美化に対する意識向上を図ることができたことが一番。これは全員の頑張りがすべてです」と話す川越代表。

また、会員のやる気を維持しているのは、年1回8月に開催する「花壇コンクール」。各花壇の美しさを会員が競いありますが、実は除草や植栽作業後に開かれる「茶飲み」が何よりも楽しみだそう。まさに、花がつなぐコミュニティの『絆』が育まれているのです。

季節ごとに咲き誇る花は、行き交う人を楽しませてくれます。そして、地域住民の心にもやさしく、美しい花を咲かせています。



↑久住花の会「YOU花」のみなさん



↑県道庄内久住線小倉峠付近緑花ブロック内除草

感動的な画期的竹田大会を終えて

大会概要と総括的感想

大会顧問・NPO日本グリーンツーリズム・ネットワークセンター代表理事 青木辰司

9月25日～27日の3日間開催された第2回フェアツーリズム国際大会。現代における観光・ツーリズムの課題を見極め、地域の資源を保全しながら交流人口を確保するという、持続可能かつ公正なあり方を探るため、集まった約150人の参加者は3日間にわたり議論を重ねました。

【全体会】

大会1日目には、基調提起およびパネルトークを行い、現代における観光・ツーリズムの課題

大会2日目には、大会テーマに沿って分科会の体験・交流や議論が、楽しく、かつ真剣に行われました。

【分科会】

第1・3分科会は、「くしふるの大地」視察後、神原地区お母さんたちの手作り薬膳弁当で昼食、「神の里交流センター

第4分科会は、「芸文短大」竹田キャンパスで、エコバッグ作り、岡本地区のジオトープを視察後、意見交換会。廃校の活用について日本・韓国の多彩な事例が報告され、地域の強みを活かし、古いものを活用し、地域全体で活動をする。また、若者・高齢者の世代間の協働が重要という結論に達しました。地域の皆さんの校歌斉唱が、参加者の胸に響きました。

第5分科会は、九州オルレ「奥豊後コース」を約3時間歩き、岡城跡から望む久住連山などの山々は、疲れを癒すに十分な感動でした。意見交換会では、観光客受け皿の整備、ガイドの充実、口コミの活用や若者の視点の導入が提案され、オルレの企画等、個性化によって地域に利益が還元される工夫が求められる、という結論に達しました。

第2分科会では、農家民泊「森のぐらんこ」で木工体験後に、竹田市の食材を使い、「食」のワークショップを行いました。SNSやメールにおける言語の壁を越えた活用の可能性、ワークショップのような対等な交流や、時間・感動の共有が「言



↑全体会・パネルトークの様子

世界で初めて「フェアツーリズム」の概念が確立！

「フェアツーリズムとは、公正旅交から公正歓交へ発展を図る、新たな人間・社会関係づくりの理念である。それは、旅行者と旅行受け入れ者、中間支援組織が、貴重な環境や歴史的文化を保全活用し、各々の経済的利益と社会的評価を公正に分ち合い、均衡のとれた関係を形成することである。」

大会最終日に採択されたこの定義は、世界的にも初めてのもので、これから「竹田宣言」として、長く実践者や研究者、関連事業者に引用されることになるでしょう。

【総括】

3日間の大会を通じて、これからの竹田市の観光・ツーリズムの展開に、大きな成果と示唆が得られたと思います。中でも一番の成果は、初めてフェアツーリズムの概念が明示されたことです。これまでグリーンツーリズムやエコツーリズム等、似た言葉を聞くことがあつたと思いますが、こうした類似のツーリズムや観光にも、このような基本的な原則が注入されれば、持続可能なものに発展すると思います。歴史的な国際大会が、日本で初めて竹田市で開催されたことの意義をしっかりとかがみしめ、今後みなさんとの交流を深めていきたいものです。



↑大会宣言採択の後、来年の再会を約束して解散しました

人を感じる「モノ作り」、古を楽しむ「マチ歩き」

「たけたふらく」イッチミタ?

竹芸・彫刻・写真など、手仕事の作家作品と、地元の食材を活かした料理・菓子など食の企画、旧酒蔵のアカースティック・サウンド・ライブ…。

「モノ作り」の作家の展示と、城下町の「マチ歩き」で楽しむイベント『たけたふらく』が10月5日、6日の2日間、城下町界隈で行われた。

このイベントは一昨年、昨年と開催された「竹田アートカルチャー」の実行委員会が内容を特化して企画したもので、2日間は兩模様にも関わらず、竹田の城下町ならではのアートイベントを楽しみに市内外から多くの参加者が訪れた。特に今年は、幅広い年齢層が目立った。

主宰する美術ユニット「オレクトロニカ」(加藤亮・児玉順平)。

協力してくれる住民や仲間、移住して活動を始める作家たちの存在は心強く、この3年間の収穫といえよう。

ふたりは口を揃えて言う。

「このまちには、潜在する魅力があることはわかった。イベントを続けていくことが大事だと思う。」

あと少しで何かが変わる、そう手応えを感じているかのようだった。

あの「瀬戸内国際芸術祭2013」のような華やかさはないけれど「たけたふらく」には、確かに、竹田にしかない温もりが存在している。



↑ザ・キャビンカンパニーによるハロウィンワークショップ「ようかい大名行列!」親子に大好評!!



「来年はさらに参加する作家の店舗を増やしたい」。成長を遂げたオレクトロニカは来年を見据える →



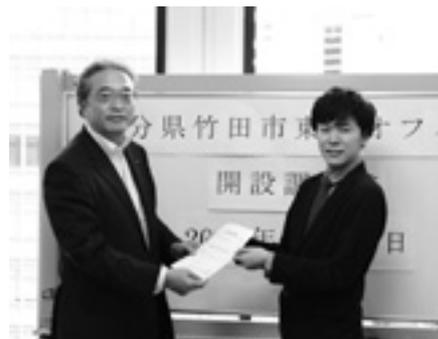
竹田市東京オフィス 東京・赤坂 に開設

竹田市は10月1日、東京・赤坂に「竹田市東京オフィス」を開設しました。今後、首都圏で

の情報発信拠点として活用していきます。

同オフィスは、昨年の岡藩城下町400年祭で歴史文化交流パートナーシップ宣言を行った兵庫県養父市出身で同ビルの7階をシェアしている大住敏之さんの仲介により、他の事業所と共有できるようにしたものです。(家賃は5万円)

また、今年6月から不在の東京事務所長には、小学校時代を竹田市で過ごした都内在住の建築家で、東京大学生産技術研究所川添研究室特任研究



↑神本豊秋氏を竹田市東京事務所長に任命する首藤市長

員の神本豊秋さん(32歳)を同日、事務所長(非常勤)に任命しました。オフィスを拠点としてI・J・ターナー希望者の相談や

竹田市出身者等の交流拠点として利用していきます。

神本所長は、「多くの人に竹田の良さや魅力を伝えるハブ(拠点)的機能になれば」と話しています。

オフィスの所在地は、東京都港区赤坂3の2の6、赤坂中央ビル7階。11月8日、15時から同オフィスでオープニングセレモニーを予定しています。お気軽にお立ち寄りください。お問い合わせは、竹田市企画情報課(☎63-4801)まで。

「第5回川端康成記念講演会」 童門冬二先生が講演

文豪・川端康成氏が昭和27年に竹田高等学校講堂で講演したことを記念して始まったこの講演会も今年で5回目。

今年は、作家で、愛知県東海市平洲記念館名誉館長の童門冬二先生を講師に迎え、10月3日竹田高校体育館で開催しました。

演題は「歴史が現代に語りかけるもの」。童門先生は、日本人のキリスト教思想家・文学者の内村鑑三氏の生涯や功績を紹介しながら、日本人が誇るべき伝統的な思想や道徳教育の大切さを解き、「歴史を現代に活かす場合にも、単なる事実の追求だけではなく、なるべくそこにある『真実』をみるようにお願いしたい」と講じました。



↑講演する童門冬二先生

個人住民税(市・県民税)、給与からの特別徴収について(お願い)

事業主の皆さんへ

大分県と県内全市町村は、平成26年度までに個人住民税(市・県民税)の給与からの特別徴収対象事業者の指定を適正に実施するために、制度の啓発・推進を行っています。

まだ実施されていない事業主の皆様は、給与からの特別徴収への切り替えに必要な手続きを、従業員さんの住所地の市町村税務担当課で行っていただきますようお願いいたします。

個人住民税(市・県民税)の給与からの特別徴収については以下のような制度です。

給与からの特別徴収とは

事業主(給与支払者)の方が、所得税の源泉徴収と同様に、個人住民税(市・県民税)の納税義務者である従業員さんなど(給与所得者)に代わって、毎月支払う給与から個人住民税(市・県民税)を集めて納入していただく制度です。

※地方税法第321条の4及び各市町村の条例により定められています。

従業員さんに以下のようなメリットがあります

- ①従業員さんが、自ら金融機関に出向き納税をする手間が省けます。
- ②給与から引かれるので、納め忘れがありません。
- ③毎月の給与から年12回に分けて引かれるので、1回当たりの負担が少なくなります。
(給与からの特別徴収でない場合は、原則として1年分を4回で納めることになります)

事業主の方が毎月税額を計算していただく必要はありません

個人住民税(市・県民税)は、前年中の所得に対して課税されるため、所得税のように事業主の方が税額を計算する必要はありません。市町村から通知された税額を事業所ごとに、毎月納入していただくようになります。

個人住民税(市・県民税)の給与からの特別徴収の方法による納税のしくみ



竹田税務署からのお知らせ

●平成25年分給与所得の年末調整説明会のご案内

平成25年分給与所得の年末調整説明会を下記の日程で開催いたしますので、ご案内申し上げます。

開催日程	対象者	場所
11月25日(月) 午後2時~午後3時30分	荻地域 久住地域の源泉徴収義務者 直入地域	竹田市役所 3階会議室
11月26日(火) 午前10時~午前11時30分	竹田地域(上記以外)の 源泉徴収義務者	
11月26日(火) 午後2時~午後3時30分		

※税務署年末調整の説明後、市役所税務課から住民税給与特別徴収について説明を行います。

●平成26年1月から記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます!

事業所得等を生ずべき業務を行っている白色申告の方で、前々年分又は前年分の事業所得、不動産所得及び山林所得の金額の合計額が300万円を超える方等が対象となる記帳・帳簿等の保存制度について、平成26年1月から、記帳・帳簿等の保存制度の対象となる方が拡大され、事業所得、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う全ての方(所得税の申告が必要ない方も含まれます。)が、収入金額、仕入れやその他の必要経費に関する事項を帳簿に記載し、その帳簿や取引に係る請求書・領収書などの書類を保存する必要があります。

詳しくは、最寄りの税務署にお気軽にお尋ねください。

なお、国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)の「個人で事業を行っている方の帳簿の記載・記録の保存について」にて確認することもできます。

●お問い合わせ 竹田税務署 ☎63-3141 ※自動音声案内
竹田市役所税務課 ☎63-1111 内線125

個人住民税(市・県民税) 給与からの特別徴収 Q&A

Q1 いままでしていなかったのに、なぜ、いまさらしないといけないのですか?

A1 個人住民税(市・県民税)の給与からの特別徴収は、従来から地方税法などで規定されていますが、所得税の源泉徴収事務に比べてよく知られていないためか、完全には実施されていない実態があります。従業員さんなどの納税の利便性を向上させる制度として、市町村や県ではこれまでも周知を図ってきたところです。制度に対するご理解とご協力をお願いします。

Q2 小さな会社で専任の事務員もいません。面倒な事務が増えるだけでは?

A2 個人住民税(市・県民税)の給与からの特別徴収は、市町村から通知された従業員さんごとの税額を、毎月の給与から集めて事業所ごとに納付する仕組みです。(所得税のような税額計算は不要です)
また、従業員さんが常時10人未満の事業所には、申請により年12回の納期を年2回とする制度もあります。

Q3 対象となる給与所得者はどのような人ですか?

A3 前年中に給与所得があり、かつ、4月1日現在で給与を支払う従業員さんなどです。(アルバイト、パートを含みます)

Q4 従業員さんが年の途中で退職した場合はどうするのですか?

A4 市町村から送付される関係書類の中の「異動届出書」に必要な事項をご記入のうえ、従業員さんがお住まいの市町村へ提出してください。残った税額については、退職の時期により取扱いが異なりますので、各市町村の税務担当課へお尋ねください。
※竹田市では、竹田市のホームページから様式をダウンロードすることができます。

Q5 特別徴収にするためにはどうすればよいのですか?

A5 毎年1月31日までに提出することになっている「給与支払報告書(総括表)」の特別徴収の欄に該当人数をご記入のうえ、各市町村に提出してください。5月中に各市町村から特別徴収税額を通知します。
※ 記載方法、様式など不明な点は、各市町村の税務担当課にお尋ねください。

●お問い合わせ 竹田市税務課 ☎63-1111 (内線125・126・127)

【関連情報】 インターネット各サイトから関連する情報を閲覧できます。

【竹田市】 トップページ > 暮らしの情報 > 個人住民税 <http://www.city.taketa.oita.jp/kurashi/individual/>

竹田市長に関する措置請求に係る監査公表

地方自治法第242条第1項の規定に基づき、監査を実施したので、お知らせします。
なお、監査結果については請求人に通知するとともに告示を行った。

竹田市監査委員 佐伯 次人
同 森 哲秀

第1 請求の受付

1 請求人 住所 竹田市 氏名 A

2 請求書の提出日 平成25年6月25日

3 請求の要旨

請求1、副市長の住宅借上げ料について

竹田市が副市長用の住宅を借上げて、それを使用させその賃料については、竹田市が支払いを行っているが、住宅手当に該当しないか。

これは、竹田市特別職の常勤職員の給与に関する条例第2条により住宅手当等は存在しないので、住宅手当として該当するのであれば、公金の違法支出である。竹田市が被った損害を補てんするための必要な措置をとることを求める。

請求2、副市長の住宅手当に関する税金の賦課徴収について

副市長の住宅手当に関する税金の賦課徴収について、所得税法上個人所得と参入され地方税法においても課税徴収されるべきで、必要な措置をとることを求める。

請求3、新任副市長の公舎について
新任副市長の公舎は市の財産である住宅を不当に使用している。その住宅を使用していることは手当に相当するもので、公舎に関わる改修費用、調度品備品等、居住のために要した経費等の返還について必要な措置をとることを求める。

第2 監査の実施

1 監査対象部署

竹田市総務課・税務課

2 請求人の新たな証拠の提出及び陳述
請求人に対して、平成25年8月2日に新たな証拠及び陳述の機会を与えた。

第3 監査の結果（判断）

請求1、副市長の住宅借上げ料について

本件請求の対象とされている賃借料の支出に関し、事実証明書として提出された、決裁伺書・契約書では違法と評価し得るようなものは見出せず、これまでの市の取り扱い、他市の事例等、裁量の範囲内の行為として認められることであるから、条例・規則に矛盾し明確に違反するも

のと認められない限りは合法性をもつと考えられる。

よって、賃貸料の支出は違法または不当と判断することはできない。

請求2、副市長の住宅手当に関する税金の賦課徴収について

調査対象となった賃借料の支出について、住宅借上げ料が個人所得として、税務署から賃貸料相当額計算方法による経済的利益とされ、給与所得として課税されているものと確認したところであり、市では従来から住宅賃貸料については、個人課税客体と捉えて、給与所得として課税・徴収を行っており、地方税の課税・徴収をしていることを認めた。

請求3、新任副市長の公舎について
市が寄付を受けた物件を改装し、竹田市公舎として管理し、貸付を行っているもので、賃借料については、無償としている。

改装については、公舎として管理の範囲であり、問題ないと考えられるし、調度品備品等の購入については、支出の事実は認められなかった。

第4 結論

請求人の本措置請求は、地方自治法に抵触するものではない。よってこの請求を棄却するものとする。

なお、市長に対し、今後疑念を生じることのないように、条例の整備等必要な措置を講じるように勧告を行うことにした。

人権擁護委員に3名を委嘱

平成25年9月30日で任期満了となり、平成25年6月議会において竹田市長人権擁護委員再任の推薦について適任と決定された次の方に、平成25年10月1日付けで法務大臣から委嘱状が交付されました。

◎委員の使命（人権擁護委員法第2条）及び「委員の職務（人権擁護委員法第11条）」については、広報たけた10月号たけたん情報①頁に掲載しております。ご参照ください。



阿南 千恵子 氏
(再任)

竹田市大字田井
630番地



小野 磯江 氏
(再任)

竹田市直入町
大字神堤922番地



甲斐 小夜子 氏
(再任)

竹田市大字久保
730番地

有由 有縁



市長コラム
〈第51回〉

有由有縁 (ゆうゆうえん)

文豪川端康成が晩年、よく揮毫したのが『有由有縁』。人との出会いや物事との接点が生まれるのは、偶然ではなく、それなりの理由が働くからであるという意味。

昭和27年、取材旅行を兼ね、友人高田力蔵の案内で竹田市を訪れ、竹田高校で講演した川端との縁は、まさに目には見えない力だけれど、神の配剤としか思えない。

←「吉報」を届けてくれたドイツ・ライプツィヒ市からユルゲン・エルンスト国際メンデルスゾーン基金事務総長



時空を越えて「夢」が授けられる

先人たちの蒔いた種が花開く

先人が蒔いた種のことをこころ強く意識させられた機会は、かつてなかったであろう。

まず、先の第3回定例会において大阪茨木市と竹田市との歴史文化姉妹都市提携が承認された。歴史文化を基軸にした提携は全国初の試みとなつたし、もちろん同時に茨木市の議会においても承認された。10月27日に竹田市で締結式が行われたが、来る11月16日には茨木市において調印式が予定されている。

中川の開祖である清秀公が治めた摂津の国(現在の茨木市)と息子の秀成公が初代藩主として治めた岡藩(現在の竹田市)が400年の時空を越えて結ばれるというのは、「至極当然のことだ」と話す清秀公の菩提寺である梅林寺住職の言葉を待つまでもないであろう。加えて、茨木市は竹田市と縁のあるノーベル賞作家川端康成先生が育つた土地でもあり、また隠れキリシタンをテーマにしても不思議な縁で結ばれていることを知れば、今回の姉妹都市締結は先人たちの導きの賜物でもある。

一方、坂の上の雲で再び全国区の注目を集めた広瀬武夫は、まさに国際人としての評価が再確認された。というのは、今回広瀬が駐在武官として活躍したロシアのサンクトペテルブルク市との交流が実現したのであるが、すでに100年を超える時が流れていたにもかかわらず、そしてあの日露戦争が精神的障害になっていたにもかかわらず、同市でいまなお広瀬武夫を敬愛している人々が私たち訪問団を温かく迎えてくれたからである。サンクトペテルブルク市では渉外局のロンスキー部長が竹

田市とのローカル外交に積極的な意欲を示し、日露協会のルイビン会長らも私たちを盛大な歓迎会でもてなしてくれた。特筆すべきは、現在竹田市で開催している広瀬武夫記念の少年柔道大会にロシアからの参加を検討したいとの話が持ち上がったことである。言うまでもなく、その源流は広瀬武夫が柔道を愛していたこと、プーチン大統領が熱心な柔道家であること、さらにはオリンピックの金メダリストである山下泰裕さんがスポーツによる国際交流を推進していることなどにある。近い将来、山下さんにサンクトペテルブルク市とのスポーツ交流の橋渡しをお願いしようと考えているところである。

3つ目の種は、画聖瀧廉太郎によって蒔かれた種である。

10月18日から20日まで第67回瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクールが開催された。今回はこれまでで最高の33人の出場者があったが、「名実ともに日本を代表するコンクールになった」と賞賛してくれた伊藤京子審査委員長の言葉どおり、とても感動的なコンクールであった。今年も瀧廉太郎没後110年の節目の年でもあったし、瀧廉太郎が留学したドイツのライプツィヒ市からも優勝者に対して正式な招待が提案されたのもあった。

まさに時空を越えて先人たちの夢という名の種が花開いていく。瀧廉太郎記念館の庭では、そのことを知ってか、ライプツィヒから贈られたメンデルスゾーンのピンクのバラが秋の日差しを受けて満開に咲き誇っている……。(表紙のバラです)

「アートレジデンス構想」の実践に向けて

9月29日、京都市内にて、東洋文化研究家のアレックス・カー氏と首藤勝次竹田市長との会談が行われました。

3月に初めて竹田を訪れたアレックス氏は、竹田のファンになり、これまでに三度竹田を訪れています。

現在、全国各地で「古民家再生」や「地域活性のプロデュース」を手掛けているアレックス氏からは、農村回帰政策やTSG構想においても大きなポイントとなる『アートレジデンス構想』について、今後の政策の方向性を探る上でも大変参考になる示唆を頂きました。



↑京都市内でアレックス・カー氏と会談する首藤市長



工藤えみブログ
<http://ameblo.jp/kudo-emi/>
 所属事務所
<http://www.platinumproduction.jp/>

竹田は私にとって、大事な宝物

工藤えみさんは5歳の頃まで竹田市内に住んでおり、その後大分市へ。

竹田といえば、農業を営む大好きな祖母との思い出の数々。田んぼで遊んだり、トラクターに乗せてもらったことも…。「竹田は私にとって、大事な宝物なのです」と、笑顔で語ってくれました。

セブンティーンモデル卒業後、約半年間を経てソロ歌手デビューを果たしました。アルバム「月光の夜」に収録されたタイトル曲は、今回作詞にチャレンジをしたうちの1曲です。竹田市民にとっては、思わず「瀧廉太郎」、「岡城跡」と連想してしまいましたが、女性の切ない気持ちが描かれたラブソングです。

「私は月に縁があるんです。『荒城の月』の町生まれで、デビュー日の翌晩が満月の『中秋の名月』だったのですから」

写真は先月、大分市で開催されたイベント会場にて。工藤さんの歌声に惹かれ、次第に観客はステージの周りに集まってきました。それはまるで、月明かりの下にいる時の、心地よさのようでした。

「目標とするアーティストはいません。聴く人に感動を与えられるような歌手になりたい」

未来に輝くアーティストの道を今、走り始めたばかりの工藤えみさん。これからのさらなる活躍を期待しています。

竹田市出身の人気ファッションモデルが
 ファーストシンガー
 1stアルバム『月光の夜』でソロ歌手デビュー！

く どう
工藤 えみ さん

(20歳・プラチナムプロダクション所属)

工藤えみ Emi Kudo

1993年2月7日生まれ 地元大分で学生情報誌『CHIME』の専属モデルからなる現役高校生ユニットCHIMO（チャイモ）として活動。2009年2月14日、シングル『We Are CHIMO Yeah!! / Best Friend』でCDデビュー。同年8月、女性ファッション雑誌『Seventeen』のミス・セブンティーンに選ばれる。これをきっかけにCHIMOを脱退。上京後、10月よりプラチナムプロダクションに所属。その後、ダンサーやテレビドラマ等に出演する等、活躍の場を広げ、今春にSeventeenのモデルを卒業。歌手活動に転身。

8月21日、全国「TSUTAYA」1400店舗にて「Being me!」無料レンタル開始！
 9月18日、ソロ歌手として待望のアルバム『月光の夜』を発表した。



↑デビューアルバム「月光の夜」。市民のみなさん応援しましょう！



全国小・中学校作文コンクール 川越菜々子さんが 県代表に!

「第63回全国小・中学校作文コンクール」中学生の部において、久住中学校1年・川越菜々子さん(12歳)の「大好きだった学童保育」が最優秀賞(県代表作品)に選ばれました。

両親の共働きなどの事情のため、昼間保護者が家庭にいない小学生児童に対し、放課後や夏休み期間などに、保護者に代わって保育をする「学童保育」。川越さんも小学校6年間、学童保育に通いました。

まだ慣れなくて、決まり事も守れず、注意されることが多かった低学年の頃。やがて高学年になるにつれて、指導員の地域のおばちゃんらが勉強や遊び相手、部屋の掃除など、温かく

見守りながら自分たちの世話をしてくれたことに気づいていきます。

大好きな学童保育で学んだ経験から「地域のひととふれあい、地域のことを知り、たくさんの優しさをもらって、この地で育ってきたことを誇りに思う」と、親切にしてくれた地域の方々への感謝の気持ちを語ってくれました。

作文は未来への決意で締めくくられています。

「いつか地域に恩返し出来る大人になりたいです。」

川越さんの作文は東京で開かれる中央審査に出品されま



ありがとう「御前湯」開館15周年!

10月20日、「温泉療養文化館・御前湯」が15周年を迎え、記念式典が開催されました。これまでの入場者数は、現時点で180万人に達しています。

今後もドイツの温泉地との交流の足跡や、外湯めぐり・飲泉文化を継承し、多くの方々が利用される長湯の中核施設を目指します。



荻町『友クラブ』全九州大会初出場

9月22日に日田市で開催された一般男子ソフトボール大会県予選を経て、九州大会への出場権を獲得した竹田市荻町の「友クラブ」(後藤 康廣監督・13名)。結成約30年の長い歴史において、初の「九州大会出場」を果たしました。

★★★竹田市民が「おもてなし☆風景」を演出!★★★

ななつ星、来た!

— ようこそ竹田へ —

クルーズトレイン「ななつ星 in九州」、運行開始4日目の10月18日。田駅(午前11時4分)に到着しました。

列車は豊肥線を下り、豊後萩駅(午前10時30分)、豊後竹

沿線や駅のホームでは、大勢の市民が歓迎の旗を振ったり、横断幕を掲げるなど、笑顔で出迎えていました。



↑城下町竹田から熱烈歓迎!「今回は竹田によっちゃよけれナ」



↑ホームや駅周辺では、あふれんばかりの住民が集まりました



↑バス利用者に社会実験を説明する協議会のみなさん

ゆつくり歩いて楽しめる城下町を目指そうと、『竹田本町通り交通社会実験』が10月1日からスタートしました。城下町の中心を通る「竹田本町通り」の2車線を1車線に減らし、路肩を広げることで、歩行者のスペースを確保する実験です。

『竹田本町通り交通社会実験』スタート

料館駐車場に集合し、歩道部分の拡幅状況などを確認しながら、竹田本町通り(対象区間約400m)を歩きました。到着した竹田分館では、意見交換会が行われました。「事故が起こらないような配慮をお願いしたい」「勾配のある付近は大型車が通る時はあぶない」「児童の目線も必要」等の感想や意見が出されました。



↑社会実験は12月下旬までを予定しています



「ドイツアート毛糸」編み物に夢中

10月11日、直入公民館では地域の特色を生かしたコミュニケーション活動を展開しようと、日本編物文化協会手編み講師の野田幸子さんを指導者に迎え、「ドイツアート毛糸の編み物教室」を開講しました。今回はクリスマスに向けて、カラフルなドイツ産の毛糸で「靴下」の制作に取り組んでいます。

暮らしのサポートセンター久住「りんどう」1周年記念祭



1周年を祝う→参加者の皆さん(久住保健センター)

高齢化先進地である本市では、コミュニケーションの弱体化する過疎地域において、高齢者や子育て世帯等の生活を地域住民が支え、行政では手の届かないニーズにも対応していくという仕組みづくりに取り組んでいます。その取り組みの中で、昨年暮らしのサポートセンター「りんどう」が誕生し、9月28日、1周年記念祭が開催されました。「りんどう」では、住民同士



↑「自分でできるところは自分で、手伝ってもらうところは手伝ってもらいながら無理のない生活を心がけている。」と話す利用会員の湯地恵子さん

の助け合い”を基本に、食事の準備、ゴミ出し、病院への付き添い等、公的な制度では対応が難しい「暮らしのちよつと困り」を有償で請け負っており、この1年間で素晴らしい成果を収めています。また、「りんどう」は、地域の『寄り合いの場』としても機能しており、本来地域に根差していた絆や支え合いの精神、住民同士の交流も生み出しています。高齢化率が全国平均の30年先を行くと言われる本市の取り組みは、日本の30年後を占うと言っても過言ではありません。この全国に先駆けた竹田独自の取り組みが、未来のモデルケースとなっていくことを期待します。



「ねりんピック」市内出場選手の活躍に期待

都野中学校3年の改木悠真くんが「第44回ジュニアオリピック大会」3000m(10/25)・27・横浜(市)に出場します。素晴らしい走りに期待します!



改木くん、Jr.オリピック出場!

第26回全国健康福祉祭さち大会(ねりんピック)よさこい高知2013)が10月26日(29日、高知県で開催されます。みなさんのご健闘を祈ります!)

【ベタンク】内藤春巳、工藤俊子、岩下弘子、古井ちよ

【マラソン】熊谷 明

【剣 道】高橋 功

【ソフトバレー】熊本孝吉

(敬称略)



社会資源の少ない地域からの発信

地域で支える「糖尿病の療養」

竹田市は平成22年度から県の糖尿病対策モデル市に指定され「糖尿病の重症化予防対策」に取り組んでいます。取り組みは全国でも注目され、10月4日・5日に行われた「全国国保地域医療学会」でも発表しました。

「モデル市の指定

竹田市では平成22年度までの数年間で人工透析者が急増しました。人工透析に至る原因疾患は様々ですが、糖尿病を発症している人が半数以上いました。

糖尿病は常に血糖が高い状態が続く病気で、自覚症状が乏しいため病気に気づきにくく、失明や腎不全等重篤な合併症を起こします。

一度罹れば長い闘病が必要になるため、新たな糖尿病の発症を防ぐとともに、糖尿病と診断されても重症化せずに安心して暮らせるよう、地域での療養を支えるしくみをつくっていくことが必要です。

糖尿病の専門医療機関や糖尿病専門医等の社会資源が少ない地域だからこそできるしくみをつくるために、モデル市に指定されました。

「新たな取り組み

モデル市の指定を受け、まずは豊肥保健所の協力のもと「糖尿病重症化予防地域連携検討会」を設立し、糖尿病に医師・薬剤師・糖尿病療養指導士や行政の保健師・栄養士等が直接顔を合わせ、現状を共有・意見交換をすることから始めました。

検討会で出てきた意見

- ・各機関の取り組みが十分周知されていない
- ・教室参加者が集まらない
- ・診療時間内の指導では不十分
- ・指導に関わる機会がない
- ・通院が中断すると治療が継続できない
- ・共に連携の必要性を感じているが実施できていない



↑かかりつけ医からの紹介による糖尿病教室

それぞれの活動状況や困りごと等を本音で語り合い、議論を重ねました。その解決の糸口が見いだせるような取り組みができないかと考え、たどり着いたのが

「かかりつけ医からの紹介による糖尿病教室」でした。

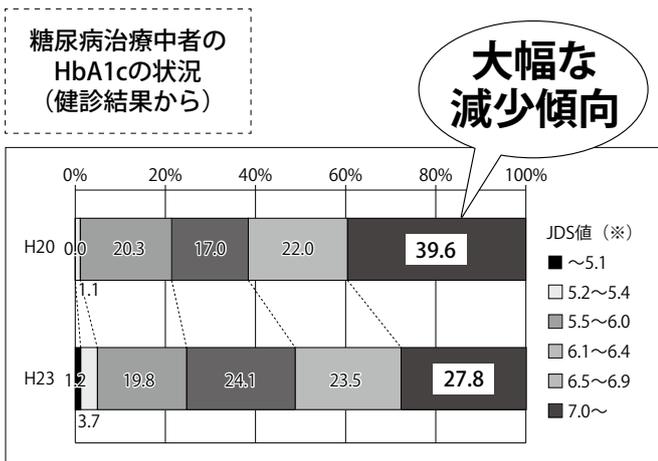
この教室の特徴は各医療機関が市の主催する糖尿病教室参加者を募ることです。平成23年度は市内の7医療機関

から17名もの紹介をいただき、医師からの勧めがあると教室の参加につながりやすいことを実感しました。
講師は地域で活躍している薬剤師や糖尿病療養指導士等にお願ひし、保健師は個別相談や教室後のフォローを行いました。
このように、多職種連携により、その専門性を活かした教室の開催となりました。

「広がる糖尿病対策の輪

併せて竹田市では、保健指導や重症化予防のための家庭訪問など総合的な取り組みを進めてきました。特に、健

大幅な減少傾向



※血糖値が高いほどHbA1cの値も高くなる。

活かされる連携

糖尿病予防講座を開講しました

糖尿病療養指導士、食生活改善推進員、理学療法士・健康運動実践指導士が講師となり、次のテーマで学習をしました。

- 病態編「なるほど納得！糖尿病の基礎知識」～まずは病気を知って、向き合おう～
- 食事編「糖尿病の食事療法」～糖尿病予防は、毎日の「食事」から～
- 運動編「運動の効果」～自分にあった、運動を見つけよう～

【参加者の声】

- ・初心に戻って頑張っていきたいと思えた
- ・手取り足取り教えて頂き、また食事も用意して頂き、こんな幸せな講習会は生まれて初めてです。
- ・運動とは野球、バレーボール、ソフトボールのようなスポーツを思っていました。今日のような運動でよかったらいつでもできると思います。

食事編では、食生活改善推進員（しらゆり会・コスモス会・みつわ会・いでゆ会）が講師として活躍しました。

さらに、市内15地区で食生活改善推進協議会主催による糖尿病予防教室が開催されています。



診後の特定保健指導は3年連続で県下1位の実施率となっています。その結果、糖尿病治療中でコントロール不良となっている人の割合が平成20～23年度の3年間で10%以上大幅に減少しました。

さらに、糖尿病教室の波及効果とし

あなたも主役

糖尿病重症化予防の大きな課題は取

て、医療機関で健康づくり教室や特定保健指導を新たに始める等、地域で糖尿病対策に取り組む輪が広がっています。

血糖コントロール不良者の声

- ・指示されたことを十分理解できない
- ・具体的な取り組み方がわからない
- ・病状や生活状況を正しく伝えていない



り組みの継続です。発症予防のための健康づくりを継続し、糖尿病になれば治療を継続していかねばなりません。

継続が中断されないように地域で糖尿病を支える仕組みをつくるためには、かかりつけ医・行政だけでなく患者（住民）自身が主体となって取り組んでいく必要があります。

今回の取り組みでは、医療機関と行政が同じ目標に向けて進んでいきました。同じように患者（住民）とその療養を支える医師・保健師などが糖尿病の発症予防・重症化予防という同じ目標に向かって進んでいく姿勢が大切です。

糖尿病と診断されても重症化せずに安心して暮らせる地域をつくるために

住民同士
支えあう場

生活習慣病予防の会

生活習慣病について定期的に学習し、継続した自己管理を行うことを目的に発足されました。

すでに生活習慣病になっている人だけが加入しているグループではなく、生活習慣病を予防したい人、今よりも健康になるために健康づくりについて勉強をしたい人達も加入しています。

グループは竹田・荻・久住・直入の4地域にあり、研修会を通じて、学習するだけでなく、会員同士の交流を図り、互いに励ましあい支えあえるグループをめざしています。

は、一人の力だけでなく、様々な人が得意な分野でその力を発揮し、足りない部分を補い、互いに「相互補完」することが必要です。社会資源が少ない地域であるからこそ、地域で糖尿病を支える仕組みを竹田市民みんなで今後もつくり上げていきましょう。

地域で糖尿病を支えるために、あなたも主役なのです。

大阪北摂の地茨木と豊後岡。この遠く離れた町が日本初の歴史文化姉妹都市を締結する。その理由の一つとして、両市に共通する貴重なキリシタン文化が挙げられるが、そこには単なるキリシタン遺物や遺跡だけではない意外な血の繋がりもあることに触れておきたい。

岡藩三代藩主の中川久清公は、中川御年譜によると二代藩主久盛公と正室の間に生まれたと記録されているが、実際は安威の方という女性が実母である。そこで、安威の方とどのような女性だったのか、その実像を追ってみた。

安威の方は、本名「松風院 初」で、茨木の主要士豪であった安威一族の出身である。一族筆頭の安威了佐は豊臣秀吉の祐筆であり、また、シモンとい

う洗礼名を持つキリシタンでもあった。一族のリーダーがそうであったならば、安威の方本人もまたキリシタンであったとしても不思議ではない。高山右近が去り、中川清秀亡き後に安威シモン了佐が豊臣家代官となり茨木に在城してから、同地方のキリシタンは彼に絶大な信頼を寄せていたであろう。

さて、安威の方を追う内に興味深い本に遭遇した。それは、摂津名所図会大成という本である。この本は、江戸期における大阪の観光ガイドブックとも言えるものだが、そこには安威殿が豊臣秀頼の側室と書かれている。また、観光ガイドブック的な本であれば、当時の大阪では、安威殿が秀頼の側室であったことは公然の事実だった

とも考えられる。だが、その一方で、中川御年譜には、安威殿を久清公の実母としながらも、身分は久盛公の侍女と書かれている。しかし、果たして、元の主君である秀頼の側室を久盛公が自分の侍女とすることができたのだろうか。もし、安威殿が秀頼の側室ならば、久清公は久盛公の実子ではなく、秀頼の子である可能性も捨てきれないのではないか。

ここに、前記の疑問が単なる絵空事とは言いなくなる裏付けがある。それは、岡藩城下町400年祭竹田市推薦図書になったザビエルコードだ。これは、著者の家に代々伝わる古文書を基に書かれたものだが、主人公が炎上する大阪城から一人の女性と秀頼の赤子を救出して岡藩に連れ帰る場面が描か

れている。出版当時、この二人の正体は不明だったようだが、後に某公的機関において名前が解明された。調査の結果、古文書には赤子の名が御津久様と書かれていた。津久丸は久清公の幼名であり、しかも大坂冬の陣と夏の陣の間の慶長二十年正月十日に生まれている。これを単なる偶然と捉えるかどうかは個人の判断に委ねるが、実にミステリアスな話である。

もう一つミステリーがある。それは、久清公の肖像画である(写真②)。父である久盛公の肖像画(写真①)と比較すると、その違いは歴然としている。久清公は明らかに日本人離れた顔で、まるで、南蛮屏風図に描かれているカピタンのようだ。ひよつとすると、実母の安威の方には南蛮人の血が混じっていたのではないだろうか。安威一族がキリシタンであったならば、当時の時代背景から考えて、南蛮人の血が入る可能性を否定できるものではない。名君と謳われた久清公には、安威一族、南蛮人、そして豊臣の血が流れているかもしれない。竹田と茨木には400年の時を超えて共通のミステリーが存在する。(後藤篤美)

岡藩三代藩主の実母「安威の方」の謎と実像を追う

中川久清公の実母は大阪茨木の安威一族出身の女性だった。

ミステリアス! 竹田キリシタン①6 「大阪茨木編」

参考文献

暁 鐘成「摂津名所図会大成」(1855)
竹田市「中川御年譜」(2007)
甲山 堅「ザビエルコード」(2012)



姉妹都市
ドイツバート・
クロツインゲンコーナー



クラウディア・ケール
Aコラム by claudia kehl
(国際交流員)

市長選挙： バート・クロツインゲン 市長になりたい人？

10月20日、バート・クロツインゲン市で市長選挙が行われる予定だ。現在のメロート市長の他4名の方が立候補している。ドイツ全国で「市長募集」を広報し、9月23日が申込締切だったが、締切の1週間前まで現職市長に対し、資格のある対抗立候補者が集まら

ず、党派関係なく様々な議員から批判の声が上がった。そこで、メロート市長の反対派が対抗立候補者を見つけ、市民に選択権を与えられるための「選択運動」を始めた。その中心として、メロート市長と同じ政党の中学校長先生テアールヴォルベック・アルベルトと現在副市長フェレ・サビネが登場した。

メロート市長に対して批判が激しい情勢。メロート市長は「16年間にわたって、バート・クロツインゲン市民は私のことを見てきたと思います。市民は我が市の発展について判断することができません。そして、これからの私を応援するかどうかを決めることができます。私はバート・クロツインゲンの発展のために頑張り、市長としての任務を続けていきたいと思っています。」と主張している。

一方、フェレ副市長は現職市長の変わってきた指導スタイルを批判し、「8年前再当選を応援したが、今年はできません。」と語っている。遂に多く方から支援されている「選択運動」に積極的に参加していたフェレ副市長が締切の数時間前に立候補届を出した。

あわせて5名が立候補したが、その中の一人は就任の意向がないため、正式には4名になる。メロート市長をはじめ、フェレ副市長、バートゼツキンゲン市のフルアウフ・ハンスユールゲン氏(♂)とシヤツルシュタト市のシュヴィツテク・カーリン氏(♀)だ。バート・クロツインゲンはこれからどうなるのでしょうか？ 引き続き報告します。

(情報元: Badische Zeitung
オンライン 9月17日・9月20日・9月23日・10月6日のバート・クロツインゲン市長選挙についての記事)

生き活き 興起

厚生労働省。パッケージ事業

あなたが開けるチャンスの扉

全国を30年先取りする挑戦

直入「ゆのはな」がスタート！

昨年9月にオープンした久住「りんどろ」に続き、暮らしのサポートセンター・直入「ゆのはな」が10月23日オープンしました。

パッケージ事業の人材育成セミナーを受講した直入地区の住民が主役となり、有償の生活支援サービスや寄り合い場(無償)などの活動拠点として、直入高齢者コミュニティセンターを利用し活動が始まります。

同施設は現在、直入地区の高齢者のコミュニティの場として広く活用されていますが今回、竹田市や地域住民のご理解により「ゆのはな」の活動が加わるようになりました。

注目される「住民が主役」

暮らしのサポートセンターは介護保険の適用を受けない日常生活の困りごと(家事支援、見守り、掃除など)を地域の力で支え合い、生活支援サービスや寄り合い場などを住民



↑10月23日のオープニングセレモニー

自らの手で行うもので、国が示した「介護保険制度の見直し」では要支援1及び2を市町村に移管し、その担い手はNPOやボランティアに委ねるとされており、竹田市の暮らしのサポートセンター推進事業はまさに先駆的的事业であり、関係者や県外からの視察が相次いでいます。

住民の手で生活課題・実態調査

特に今回は「ゆのはな」の活動に

竹田雑感 #46

～調査研究を通してみた竹田～

竹田の良さは「人」ではなく「まち」なのだ

東京大学大学院 川添研究室 修士2年
田邊 裕之 HIROYUKI TANABE



初めて竹田のことを知ったのは今から3年ほど前です。縁あって知り合いが多かった東京大学景観研究室の方々が調査をしている城下町がある、というくらいの認識でした。2年前には川添研究室の発足パーティーに竹田出身の方々がお祝いで来てくださりました。私が竹田を訪れたのは1年前。竹田アートカルチャーに川添研究室として参加した際に、現在は「よろうえ」に展示されている壁絵を描くための会場作りをしていました。そしてついこの間も竹田出身の方が営む居酒屋さんを訪れました。そんな積み重ねもあり、実際に竹田を訪れたのは一週間にも満たないくらいのわずかな時間でしたが、竹田のことはとても身近に感じています。

その1週間で感じたことをもう少し掘り下げてみます。竹田と考えると真っ先に思い浮かぶのは、やはり「人」です。突然やってきて倉庫の改修作業をしているところに、通りがかりに「なにやっているの」と声をかけてくださったり、差し入れをくださったたり、果ては泊めてくださったり。竹田の「人」の気質の良さがどこか懐かしい、居心地の良さを生み出しているのは確かです。でももう少し踏み込んで考えると、例えば竹田の城下町の中には24時間営業のコンビニはありません。もちろんファミレスだってありません。そういった、都市には当たり前にあるサービスがないお陰で竹田の人の良さに触れられた、そういう面も一方であるのではないかと思えます。

確か建築史の授業で聞いた話ですが、住宅の間取りの歴史を見てくると昔の家にはあって近頃の家にはないものがあるそうです。それは人をもてなすための空間です。その代わりに都市には様々なサービスが溢れ、お金を払えば誰に頼るでもなく過ごすことができるようになりました。人をもてなすための空間が失われ、人を家に招き入れてもてなすという心も忘れられようとしています。竹田の人にはその心が色濃く残っています。そのためにも空間も残っています。だから敢えて竹田の良さは「人」ではなく「まち」なのだ、と言い直したいと思えます。



今月の食育レシピ



材料(4人分)

お米	200cc	乾シイタケ	2枚
鶏もも肉	100g	エビ	8尾
赤ピーマン	1/8個	カボス	1個
黄ピーマン	1/8個	その他、竹田の野菜	
トマト150g	1個	※シイタケを使用する場合は、あらかじめ水に戻しておく。(戻し汁は、出汁として用いてもよい)	
玉ねぎ	1/2個		
ニンニク	1片		
サフラン	適量		
オリーブオイル	40cc	好みに応じて、竹田ならではの食材を加えてオリジナルのパエリア風炊き込みご飯をお楽しみください。	
ブイヨン	200cc		
パプリカ(粉)	小さじ1/4		
塩	適量		

炊飯器パエリア

作り方

【下処理】

- ① 鶏もも肉を1口大に切る。
- ② 野菜類を1cm角に切る。
- ③ トマト、ニンニクを粗みじん切りにする。

【調理】

- ④ フライパンにオリーブオイルを入れて鶏肉を炒める。
※オリーブオイルは煙が立たないように注意する。
- ⑤ ④に野菜類、エビを加えてさらに炒める。
- ⑥ ⑤に、ニンニクを加え、香りが出たらパプリカ(粉)を加える。
※パプリカ粉を加えると香りがよく味が締まる。
- ⑦ ⑥に、トマトを加えて十分に炒める。
※水気が少なくなりペースト状になるまで。
- ⑧ 炊飯器に、米、ブイヨン、⑦、塩適量を加えてよくかき混ぜて炊く。
※よくかき混ぜないと、具が浮き上がり、また底に焦げができ、お米もよく炊けない。
- ⑨ 炊き上がった後よくかき混ぜて皿などに盛り、具の形を整えてカボスを添える。食べるときは塩を好みの量振りかける。

※調理中は味の濃さを調整する塩気はブイヨン以外には使用しません。最初から塩で味を調整すると炊飯時に炊飯器の釜を傷めますので、食べるときに塩加減を調整します。

(サフラン生産出荷組合 渡部親雄さん)

先立ち、地域住民の手で「高齢者生活課題実態調査」を6月から9月の間、直入地区の65歳以上の高齢者1023名を対象に行いました。今支援が必要な方や5年、10年先の不安が明らかになりました。活性化推進室では実態調査から見えてきた課題

をもとに10月31日、市民向け公開セミナー(地域福祉・介護編)を開催しました。その内容については市報12月号でお知らせします。
お問い合わせは、暮らしのサポートセンター・直入「ゆのはな」☎0974-7513380



たくましく心豊かで意欲的な子どもの育成をめざして

今月の学び舎 竹田市立直入幼稚園

この時期、瀧音楽祭に向けて歌や楽器の練習に取り組んでいる子どもたち。2年保育の我が園は、前年に瀧祭を経験した年長児が、自主的に楽器の練習をする姿に年少児も刺激され、友だちと誘い合って、意欲的に取り組む姿が見られます。そんな子どもの姿から、『たくましさ』『意欲』が育つてきているなど感じうれしく思います。特に、幼児期に『意欲』を育てることが、小学校以降の学習意欲を高めることにつながると考



↑花壇に水やりをする子どもたち



↑自力登園する子どもたち

え、日々『やる気』を育てる保育の実践に努めています。また、人間形成の基礎を培う重要なこの時期、最も大切なことは、人を思いやる心、優しい心の芽を育むことです。園では、家庭と連携し、人から親切にしてもらったら『ありがとう』、迷惑をかけた時は、『ごめんなさい』を、親自身にも心がけて取り組んでもらっています。

また、絵本を貸し出し、たくさん親子で親しめるよう協力して頂いています。おかげで、友だちが泣いた時、元気がない時、自分のことのように心配する姿、あそびの中で友だちを応援し、励ます姿、友だちと喧嘩しても、友だちの気持ちがわかると、すぐ仲直りできる姿など、温かい、やさしい関わりが、たくさん見られます。

園には、園児一人一人に花壇があります。登園後まず、花の水やりが子どもたちの日課となっています。感心に自分の花壇だけでなく、職員室の前や、タイヤの花壇にも率先して水やりをしてくれます。

余程の悪天候でない限り、園児たちは、全員、徒歩登園しています。その子どもたちを毎朝見守ってくださるのが地域の方々です。

このように家庭、地域の方々の愛情に支えられ園児たちは、日々、生きる力を自ら育んでいます。

(熊谷恵津子)

まろていど博物館

97

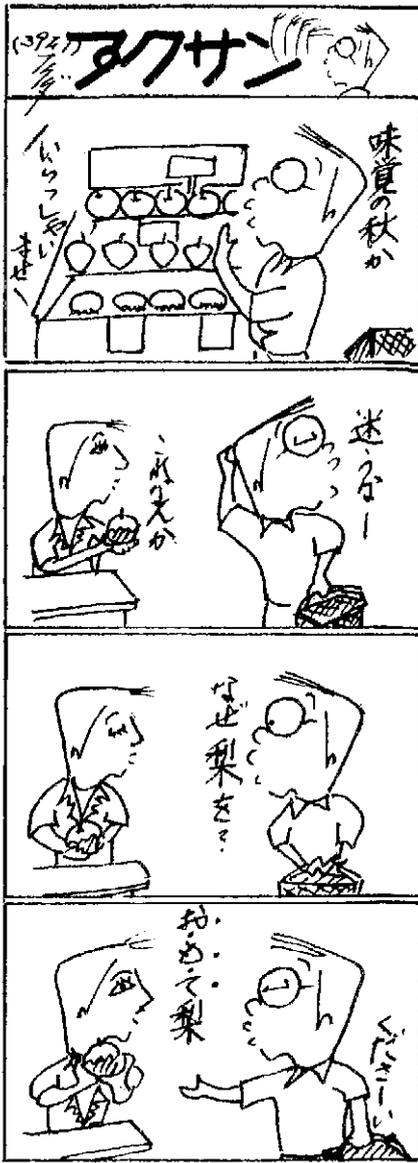
戦前戦後、竹田六偉人(中川久清・田能村竹田・中川久照・小河一敏・田近陽一郎・廣瀬武夫)として敬愛されてきた人物の一人。文政8年(1825)竹田に生まれ幼名午之助、通称は土佐、後に号を栖山と称した。三代藩主久清の支流で代々岡藩の家老を務め、屋敷跡には芝原台地の広大な敷地に野外活動施設「そうぞうの丘」が建設されている。

幕末の岡藩家老 中川久熙

な攘夷論から国内統一を優先し、外国との交易による富国強兵を図つても諸外国と対等に対峙する力をつけるべきだとする「大攘夷論が大勢を占めた。文久2年(1862)4月久熙は薩摩藩島津久光が上洛するとの情報を機に小河一敏、赤座弥一郎、広瀬重武等藩士約20名と共に挙兵し諸藩2百名余りと合流し討幕を図ろうとした。

しかし、尊攘より公武合体を目標む久光が薩摩藩士の尊攘過激派を一掃しようとする薩摩の内紛、「寺田屋の変」で挫折。岡藩主久昭から禁錮刑に処せられ隠居謹慎となった。その後禁錮を解かれ慶応4年長崎に行き、富岡(天草)県の知事を務めた後、長崎で殖産興業を推進し竹田物産を興した。明治4年47歳で死去し後に従四位を授かる。(井上隆)

参考文献 『岡藩勤王家略伝』 竹田町教育委員会



キリトリセン

新刊のご案内

【一般の本】

- ・祈りの幕が下りるとき (講談社) 東野 圭吾
- ・犬から聞いた素敵な話―涙あふれる 14 の物語― (東邦出版) 山口 花
- ・カレーライス!!―アンソロジー― (バブルコエンタテインメント事業部) 阿川佐和子
- ・利休の風景 (淡交社) 山本 兼一
- ・光秀の定理 (レンマ) (角川書店) 垣根 涼介
- ・フランシス子へ (講談社) 吉本 隆明
- ・今すぐ使えるかんたん Windows 8 完全ガイドブック (技術評論社) 技術評論社編集部
- ・本日のまかないも最高なり! (メディアファクトリー) 内田 悟
- ・見送ルーある臨床医の告白― (新潮社) 里見 清一
- ・1週間でカンタン毎日着せたいキッズニット (アップルミーツ) 岡 まり子

【子どもの本】

- ・みなまた、よみがえる (写真絵本) (新日本出版社) 尾崎たまき
- ・どろぼうがっこうぜんいんだつぞく (偕成社) かこさとし
- ・アニメおさるのジョージとけいえほん (金の星社) マーガレットレイ
- ・とびばこのひるやすみ (PHP 研究所) 村上しいこ
- ・明日のカルタ (日本図書センター) 倉本美津留

他 80 冊ほど入りました。

【大人の本】

「竹内栖鳳 近代京都画壇の大家」別冊太陽日本のこころ 211 (廣田 孝監修/平凡社)



幕末の京都に生まれた日本画家「竹内栖鳳」。円山応挙や呉春の流れをくむ四条派から出発した彼はいつしか、「伝統にがんじがらめではない日本画を描きたい」という想いを秘めるようになり、西欧滞在などを経て西洋絵画技法を見聞きし、「新しい日本画」を描くようになった。動物画、人物画、風景画、四条円山派を受け継ぐ初期の作品とともにその足跡を辿るほか、襖絵、合作、最晩年作、直筆の書簡など貴重な資料も収録された見応えのある一冊です。

図書館のお知らせ



11月

- 竹田市立図書館 TEL・FAX63-1048
- 荻図書館 (荻みらい館内) TEL・FAX68-2200
- 久住図書館 TEL76-0717・FAX76-0724
- 直入図書館 TEL75-2240・FAX75-2231

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

※カレンダー中の白抜きの日が休館日です。

司書のおすすめ

【子どもの本】

「どのこかな？」

(ヒド・ファン・ヘネヒテン 作/ブロンズ新社)

ふとっちょペンギンはどの子かな？わらってるしまうまはどの子かな？はんたいむきのおさかなはどの子かな？おたんじょうびのパーティに行くのはどの子かな？親子でコミュニケーションを楽しめるボードブックです。ベルギーの絵本作家ヒドさんの楽しい絵本はいかがですか？はじめてのさがしものえほんですよー！



今月の読み聞かせ

- ブックスタート 11月13日(水) 13:30～ (竹田市総合社会福祉センター)
 - おはなしのへや 毎週火曜日 10:30～11:00 (竹田市立図書館えほんのへや)
 - おはなしルーム 11月20日(水) 13:20～ (竹田幼稚園えほんのへや)
 - おはなしルーム 11月14日(木) 14:00～ (南部幼稚園)
- 11月3日(日)に文化の日のおはなし会を開催します。
えほんのへやに来てくださいね！(10:30～11:00)



↑紅葉の岡城跡

国指定史跡岡城跡 家族無料観覧券

この券を切り取り、登城の際、料金所に提出してください。1枚につき、1家族が無料で観覧できます。再発行はしませんので大切に保管してください。

竹田市教育委員会文化財課

キリトリセン



武将の中で随一の猛勇

太祖 中川清秀

山崎の戦いで先鋒隊の二番に編成され光秀を破る戦功をあげました。信長が光秀に襲撃された時に、秀吉が清秀に送った手紙が梅林寺(茨木市)に所蔵されています。その内容は、「信長と信忠は難をまぬがれて無事である」ことをほのめかしています。

天正11年(1583)信長の後継をめぐる秀吉と柴田勝家との争いが近江国(滋賀県)賤ヶ岳にて行われました。大岩山岩に陣を敷いた清秀は、佐久間盛政(初代岡藩主秀成の妻虎の父)の大群に急襲され42才で討死しました。賤ヶ岳の桑山重晴と岩崎山の高山右近らが敗走するなか、清秀の奮戦ぶりは山崎の戦いを含め後の中川家の運命に大きな影響を与えたのでした。

中川家菩提寺の梅林寺第四世住職是頼は、山麓の下余呉村土民達の助けを得て遺骸を火葬し、また戦士達の遺骸を集められ大岩山上に埋葬し塔を建てて供養しました。それ以降、院号を清秀院と定め、中川柏を寺紋としています。梅林寺は、慶安3年(1650)茨木川の氾濫より流失しましたが、現在の場所に再興され境内の庭には、清秀の供養塔が建てられています。

また、賤ヶ岳の戦い前に描かれたとされる清秀の肖像画も寺宝として所蔵されています。(佐伯 治)

竹田市は、大阪府茨木市と日本初となる『歴史文化姉妹都市』締結のため調印式が11月16日(土)に行われます。

茨木市は、岡藩主中川家の太祖清秀、竹田市とも縁の深い川端康成の出身地です。

清秀は、天文11年(1542)、摂津国福井村中河原(現・大阪府茨木市)に生まれました。妻は、熊野田資利の娘・稍、を娶っています。

はじめ摂津国人であった池田勝正に仕え、織田信長が上洛してくるとそれに従いました。元龜3年(1574)、白井河原の戦い(大阪府茨木市を流れる川で安威川の支流、現茨木川)において荒木村重と共同して高槻城の城主和田惟政や茨木城の茨木氏らを討ち取り、戦後は6万石の茨木城(現・茨木小学校)の城主となりました。このときに、惟政が兜の前立てにしていた十字を家紋としましたが、十の形は切支丹宗門にて用いるもので、公儀を憚るものであることから花車または轡と呼びました。

天正10年(1582)織田信長の家臣明智光秀が謀反を起こした本能寺の変により、豊臣秀吉は、いわゆる「中国大返し」により中川清秀・高山右近・池田恒興を味方につけ、



↑中川清秀像(中川神社蔵)

※歴史書等には「2年」となっています。

9月19日、国指定史跡「岡城跡」で九州電力とグループ企業が職員ほか、市職員ら約120人が石垣の雑草や雑木を取り除くボランティア作業を行いました。(消防職員は9月17日・18日35人が参加)

美しい紅葉を楽しみにお越しになるお客様をきれいな石垣で迎えることができます。ご協力ありがとうございました。



岡城跡のボランティア石垣清掃

誕生おめでとう 9月生まれ(親・自治会)

国指定史跡岡城跡

家族無料観覧券

有効期間

平成25年11月16日(土)から12月1日(日)まで

竹田市教育委員会文化財課

キリトリセン



第65回画聖「田能村竹田」先生をしのぶ美術祭 紙上作品展

画聖「田能村竹田」先生をしのぶ美術祭審査が10月10日、竹田市B & G直入海洋センター体育館で行われ、絵画の部（3,707点）、書写書道の部（1,936点）に出品された5,643点の中からそれぞれ28点が特賞に選ばれました。

授賞式は11月3日(日)、久住公民館くじゅうサンホールにて行われます。入選作品は11月1日(金)～4日(月)まで久住公民館で展示されます。

また、11月12日(火)～17日(日)まで市民ギャラリー水琴館で再展示を行います。

今月号は文部科学大臣奨励賞作品、及び市内の特賞受賞作品をご紹介します。(敬称略)

絵画の部

文部科学大臣奨励賞

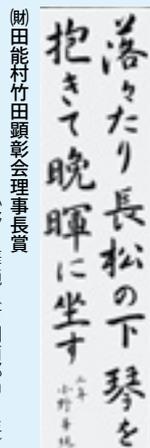
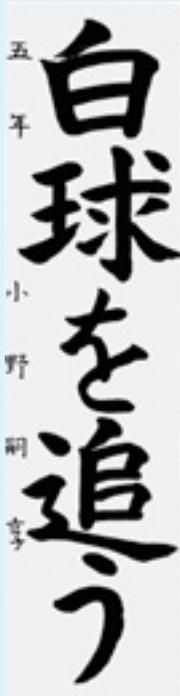
久良 悠希奈 (竹田中3年)

両部門とも竹田から「文部科学大臣賞」!

書写書道の部

文部科学大臣奨励賞

小野 嗣享 (祖峰小5年)



(勸田能村竹田顕彰会理事長賞)

小野 華純 (竹田南中2年)



県知事賞

渡部 聡太 (宮城台小1年)



毎日新聞社賞

佐竹 拓樹 (宮城台小2年)



竹田市美術協会会長賞

後藤 陽登 (都野中2年)



竹田市観光ツーリズム協会会長賞

小川 稜 (豊岡小5年)



竹田市長賞

吉良 彩伽 (豊岡小5年)



毎日新聞社賞

秦 沙也香 (豊岡小3年)



勸田能村竹田顕彰会理事長賞

田邊 叶 (直入小1年)



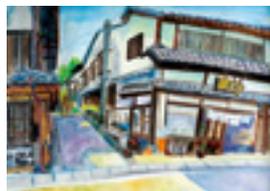
竹田市文化連盟会長賞

堀 百花 (菅生小5年)



竹田市議会議長賞

吉良 将人 (豊岡小6年)



毎日新聞社賞

工藤 理愛 (豊岡小6年)



朝倉丈夫奨学会会長賞

三田井龍太 (祖峰小4年)



エフエム大分賞

吉田 幸村 (菅生小1年)



大分県造形教育研究会会長賞

児玉 悠介 (豊岡小4年)



毎日小学生新聞賞

甲斐菜南美 (豊岡小6年)



竹田商工会議所会頭賞

深田 綾乃 (豊岡小4年)



郷土の植物

(296)

阿孫 久見

第104回

スズムシバナ (キツネノマゴ科)

浅い山地のやや湿気のある林内や林縁の陰地に生育する高さ60センチほどの多年草です。茎は四角形で硬く毛があり、下方から対生状に枝分かれます。

対生する葉は広卵形でふちに鈍い鋸歯があり、長さ8センチ、幅が5センチほどです。葉の両面とふちにまばらに毛があります。

夏から秋にかけて、茎の先に花柄のない紫色の径

2・5センチほどの5裂する筒状の合弁花を横向きに数個咲かせます。花は朝開いて夕刻には散る1日花です。和名の鈴虫花の語源は、はつきり分かりません。

竹田では山の道端の草むらや湿った滝つぼ付近のうす暗い場所で観察されますが、個体はさほど多くありません。花期は9月から10月です。

おくすく
1歳



平成24年11月生まれ

誕生日 親
(地区・自治会)

平成25年12月に
1歳の誕生日を迎えるお子さんの
写真を募集します！

■ 秘書広報係 ☎6311043

アップル! 100歳
いつまでもお元気で!



広報たけた

No.104 平成25年11月1日発行 ■発行/竹田市役所 [URL] <http://www.city.taketa.oita.jp> E-mail taketa@city.taketa.lg.jp
■編集/総務課秘書広報係 ☎878-8555 大分県竹田市大字会々1650 ☎63-1043 ■印刷/佐伯印刷(株)

この広報紙は再生紙を使用しています。

第5回光ファンタジア in 長湯湖

日 時 11月16日(土)～12月25日(水)

点灯時間 17:30頃～21:00

(天候等により点灯時間が変わる場合がございます)

場 所 長湯湖「長湯癒しの里」周辺

入場料金 大人400円(中学生以上)

小人200円(小学生以上)

※小学生未満無料

●お問い合わせ 光ファンタジア in 長湯湖実行委員会

☎0974-75-3111(長湯温泉観光協会内)

かなで

奏リコーダーアンサンブル 第9回定期演奏会

日 時 11月24日(日) 開場13:30 開演14:00

会 場 久住公民館くじゅうサンホール

入場料 一般1,000円 中学生以下500円

出 演 奏リコーダーアンサンブル

〔賛助出演〕山本千枝子

●お問い合わせ 奏リコーダーアンサンブル事務局

☎090-2078-6979(加藤)

第9回歳末助け合いチャリティーショー

日 時 11月30日(土) 午前の部 10:00～12:00

(入場は9時から)

午後の部 14:00～16:00

(入場は13時から)

場 所 久住公民館くじゅうサンホール

※各自治会・各種団体・福祉団体で協力券(1枚500円)を販売しています。入場の際は必ず協力券をお持ちください。協力券をお持ちでない方も当日券(1枚500円)を用意しています。

●お問い合わせ 竹田市社会福祉協議会 ☎63-1544

竹田市福祉事務所 ☎63-4811

市民ギャラリー 水琴館

☎63-2200

〔開館時間〕9:00～17:00

〔休館日〕月曜日・祝日の翌日(月曜日が祝日の場合は開館)

○『第49回大分県美術展写真展巡回展』

10月29日(火)10:00～11月4日(月・祝)15:00

第49回大分県美術展写真展に入選した優秀作品を展示。最終日は16:00で閉館。

(大分県美術協会写真部豊肥支部 ☎090-8415-3301)

○写真展「RAIZO TAKAKI」

11月6日(水)午後～11月10日(日)

これまで撮りためた「風景」、「人物」等の写真を展示。

(竹蔵 TAKEGURA ☎090-7535-4352)

○『第65回画聖「田能村竹田」先生をしのぶ美術祭 特賞展示』

11月12日(火)午後～11月17日(日)

第65回画聖「田能村竹田」先生をしのぶ美術祭において特賞に選出された作品(絵画、および書写書道各28点を展示。

(竹田市生涯学習課 ☎63-4817)

○『川野和男版画展 —佐藤義美 童謡と竹田—』

11月19日(火)午後～12月1日(日)

童謡・童話作家 佐藤義美の「童謡と竹田」をテーマとした版画作品を展示。

(川野和男 ☎62-2416)

※なお、展示内容の詳細を知りたい方は、申込者へ直接お電話でお問い合わせください。

歴史資料館

☎63-1923

〔開館時間〕9:00～17:00

〔休館日〕月曜日・祝日の翌日(月曜日が祝日の場合は開館)

○特別企画展 2階展示室

『渡邊拈華 —岡藩の絵師たちII—』

11月1日(金)～12月15日(日)

渡邊拈華(1799～1872)は岡藩城下町竹田で表具業を営む一方で、田能村竹田に画を学び、晩年には藩絵師に登用された人物です。拈華は人物画を中心に多くの作品を遺しており、その画風は緻密で写実的なものから豪快なものまで幅広いものがあります。

今回の展覧会では拈華をはじめ師・竹田、同門の高橋草坪、帆足杏雨、田能村直入、そして同時代の岡藩絵師たちの作品を紹介いたします。

城下町竹田で花開いた多彩な絵画をお楽しみください。

展示予定作品(一部)

渡邊拈華《自画像》



田能村竹田《松陰双鶴図》



渡邊拈華《唐児小禽図》

〔大分県立芸術会館所蔵〕

古文書実践講座受講生募集

大分県立先哲史料館の協力で、古文書の基礎と扱い方、解読の基礎や整理の方法を学ぶ「古文書実践講座」を開講します。地域や家に伝えられた史料(古文書など)や地域の歴史に関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしています。

会 場 市民ギャラリー水琴館会議室

募集人員 20名(先着順) ※受講無料

第1回 11月23日(土)、第2回 11月30日(土)、第3回 12月7日(土)、第4回 12月14日(土)

※時間は第1回 13:30～17:00、第2～4回 13:30～16:50です。

講座の構成は、先哲史料館研究員による講義、歴史資料館職員による演習(岡藩関係古文書の読解)となっています。

●お申し込み・お問い合わせ

歴史資料館 ☎63-1923 / 水琴館 ☎63-2200

消 防

平成25年「秋の全国火災予防運動」を実施します

実施期間 11月9日(土)～11月15日(金)までの7日間
実施期間中は、消防車での防火広報や消防団による火災防御訓練等が行われます。

・住宅防火いのちを守るポイント

- 寝たばこは、絶対にやめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。

火災が発生しやすい時期となります。火の取り扱いに十分注意をしてください。

また、お年寄りなどを火災から守るために、隣近所の協力体制をつくりましょう。

「消すまでは 心の警報 ONのまま」
(2013年度全国統一防火標語)

●お問い合わせ

竹田市消防本部警防課 予防係 ☎63-0119

女性消防団員募集

消防団の活動には、女性のソフトな感性を活かした活動も求められることから、竹田市では平成26年度から新たに女性消防団員を募集することになりました。

活動内容

女性消防団員の活動は、以下のとおりです。

- 1 各種広報活動
- 2 出初式などの消防団行事への参加及び運営補助
- 3 災害時等の後方支援
- 4 その他

募集内容

- 1 18歳以上の方
- 2 市内に居住する方

募集人数 10名程度

選考方法 書類審査等

採用予定日 平成26年4月1日(火)

処遇等

- 1 身分は条例による、基本消防団員です。
- 2 条例に基づき年報酬・費用弁償・手当が支給されます。
- 3 制服、制帽、活動服等を貸与
- 4 公務災害補償、退職報償金(5年以上)、表彰などの制度があります。

申込方法

応募申込書を竹田市消防本部に用意しています。

[申込先] 竹田市消防本部 庶務課

[申込期限] 平成25年11月29日(金)

●お問い合わせ 竹田市消防本部庶務課 ☎63-0119

年 金

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が発行されます

～年末調整・確定申告まで大切に保管を！～

国民年金保険料は、所得税及び住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。その年の1月1日から12月31日までに納付した保険料が対象です。

このため、平成25年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方については、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が本年11月上旬に日本年金機構本部から送付されますので、年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書(または領収書)を添付してください。

また、10月1日から12月31日までの間に今年はじめ

② 2013年11月発行

て国民年金保険料を納付された方については、来年の2月上旬に送付されます。

●お問い合わせ

大分年金事務所 国民年金課 ☎097-552-1211

消費生活相談

消費生活相談窓口からの注意喚起

クーリングオフ制度とはー

クーリングオフとは、訪問販売や電話勧誘販売など特定の取引方法で契約した場合に、一定の条件を満たせば、消費者が一方的に契約をやめることができる制度です。クーリングオフにより契約をやめる時には特別な理由はいりません。

また、費用を負担する必要もありません。ただし、クーリングオフの通知は証拠を残すため必ず書面で行い「簡易書留」などの方法で発信しましょう。

●お問い合わせ 竹田市市民課 窓口(竹田市消費生活センター) 8:30～17:00(月～金/平日のみ) ☎63-4834 / 大分県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス) ☎097-534-0999

指定管理募集

祖母山麓体験交流施設「あ祖母学舎」の指定管理者を公募します

竹田市では、地方自治法及び竹田市祖母山麓体験交流施設「あ祖母学舎」条例に基づき祖母山麓体験交流施設「あ祖母学舎」において管理・運営を行う指定管理者を公募します。

1. 施設の概要

名称: 祖母山麓体験交流施設「あ祖母学舎」

所在地: 竹田市大字神原15番地

指定期間: 平成26年4月1日～平成31年3月31日(5か年を予定)

2. 募集要項

募集期間: 平成25年11月15日(金)～12月13日(金)

要項詳細: 業務内容や応募資格等の詳細については竹田市教育委員会生涯学習課(☎63-4817)までお問い合わせください。

月 間

11月は「児童虐待防止推進月間」です。

平成25年度推進月間標語

『さしのべた その手がこどもの 命綱』

児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加しており、特に子どもの生命が奪われるなど重大な事件も後を絶たない状況において、児童虐待問題は社会全体で解決すべき重要な課題となっています。

このため、11月を児童虐待防止推進月間と定め、家庭や学校、地域など社会全般にわたり、深い関心と理解が得られるよう取り組みを推進することとしています。

児童虐待について見たり、聞いたり、不審に思われる場合は、児童相談所や福祉事務所へご連絡ください。連絡いただいた方の個人情報、秘密事項は厳守します。

●連絡・お問い合わせ

児童相談所全国共通ダイヤル(☎0570-064-000)

大分県中央児童相談所(☎097-544-2016)

竹田市福祉事務所(☎63-4811)

12月1日は「世界エイズデー」です!

今年のテーマは「恋愛の数だけHIVを語ろう」

HIV感染者・エイズ患者は年々増加しています。H

I Vに感染していても症状はありませんが、他人に感染させる力があります。早期発見・早期治療が重要ですので、H I V検査を受けましょう。

【H I V夜間検査】

日時 12月3日(火) 17:00～19:00

※匿名可、無料。事前予約制ですので、検査を希望される方は、下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ 豊肥保健所地域保健課 ☎0974-22-0162

犯罪被害者週間 11月25日(月)～12月1日(日)

国民のつどい大分大会が開催されます

犯罪被害にあわれた方々が置かれる状況について考えてみませんか。

日時 11月29日(金) 13:30～16:30 ※参加無料

会場 ホルトホール大分3階大会議室
(大分市金池1丁目5-1)

内容 ・基調講演「犯罪被害に遭うということ」
岩城順子(被害者遺族、京都府犯罪被害者支援コーディネーター、社会福祉士)
・パネルディスカッション
「犯罪被害者等を地域で支えるために～犯罪被害者支援の現状と課題～」
・ライブ 森進一郎(府内フォーク村オーナー)

●お問い合わせ 内閣府主催犯罪被害者週間イベント事務局 ☎03-6459-0575

県 税

「個人事業税」第2期分納期限は11月15日(金)です

個人事業税第2期分の納期限が近づいてまいりました。忘れずに納めましょう。

なお、納税には便利な口座振替の制度がありますので、ご利用ください。

●お問い合わせ 大分県豊後大野県税事務所 ☎0974-22-7501

相 談

全国一斉【女性の人権ホットライン】強化週間

夫やパートナーからの暴力、職場でのセクシャルハラスメント、つきまとい(ストーカー)、その他の人権問題の相談ができます。秘密は厳守されますのでお気軽にご利用ください。

日時 11月18日(月)～24日(日)
〔平 日〕8:30～19:00
〔土・日〕10:00～17:00

電話番号 0570-070-810
(全国共通/大分地方法務局)

担当者 人権擁護委員、法務局職員

◇ホームページアドレス

http://www.moj.go.jp/jinkennet/oita/oita_index.html

11月12日～25日は「大分県女性に対する暴力をなくす運動期間」です。

●お問い合わせ

大分地方法務局人権擁護課 ☎097-532-3368

「人権特設なんでも相談所」開設

人権なんでも相談所を開設します。お気軽にご相談ください。

会 場	場 所	電 話	期 日
竹田会場	総合社会福祉センター	63-3360	12月6日(金)
荻 会 場	福祉健康エリア	68-3050	12月6日(金)
久住会場	久住支所会議室	76-1111	12月6日(金)
直入会場	直入公民館	75-2240	12月6日(金)

相談時間 10:00～15:00

心配ごと、困っていること、何か心に引っかかることがあれば、思い切って相談をしてみたいか。秘密は固く守られます。また、難しい手続きがなく、相談は無料です。

●お問い合わせ 竹田人権擁護委員協議会・大分地方法務局竹田支局 ☎0974-62-2315

無料調停相談会

日時 11月10日(日) 9:30～15:30

場所 豊後大野市中央公民館
(豊後大野市三重町市場1200番地)

●お問い合わせ 竹田調停協会 ☎63-2040

視覚障がい教育相談

日時 12月5日(木) 10:30～15:00

会場 豊後大野市教育委員会(豊後大野市中央公民館)

●お問い合わせ 大分県立盲学校 ☎097-532-2638

募 集

米粉アイデアレシピコンテスト

募集内容 県産米粉使用の料理・パン・菓子・加工品はもちろん、朝食・介護食・離乳食・非常食など、オリジナル・アイデアレシピを大募集!
【プロ部門】販売を目的としている事業者
【一般部門】販売を目的としない個人・グループなど

応募締切 11月30日(土) 必着

●お問い合わせ・応募先 〒870-0037 大分市東春日町7-13 NPO法人アシスト・パル・オオイト「米粉アイデアレシピコンテスト」係 ☎097-534-8033 FAX 097-535-1692 E-mail:apo2002@rapid.ocn.ne.jp

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
				月間・その他									
			<p>第25回大野川源流祭り記念「スマイルフォトコンテスト」入選者発表 たくさんのご応募ありがとうございました。以下のとおり決定しました。</p> <p>後藤真澄さん(荻町)、村上璃奈さん(荻町)、山村加奈恵さん(荻町)、後藤桃子さん(荻町)、佐世しのぶさん(大分市)(5名)</p> <p>【表彰】「第34回荻ふるさと祭り開会式」 11月3日(日) 9:00～9:30 (竹田市荻町恵良原 福祉健康エリア内 ふるさと祭りメイン会場)</p> <p>●お問い合わせ 第25回大野川源流祭り実行委員会「スマイルフォトコンテスト」事務局 ☎0974-68-2215</p>										
3	<p>文化の日 ・第74回大分県畜産産連会(乳用牛の部)(大分市廻野野 みどりの王国) ・「五感で巡る竹田産産の旅～荻編～」(出発)8:30(往)9:30(戻)8:50(直入観光協会)→9:30(竹田市後所) ・竹田市民体育館 8:30～(荻福祉健康エリア) ・第8回トマト天国inおさき・第34回荻ふるさと祭り 9:00-16:00(荻福祉健康エリア) ・田能村竹田179年祭 【献茶式】9:00-15:00(旧竹田荘面聖堂) ・第65回回覧会(田能村竹田、先生を思ふ美術祭)献茶式 10:30～(久住公民館くじゅうセンター) ・竹田市功労者表彰式 13:30～(竹田市総合福祉センター) ・文化の日のおはなし会 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや)</p>		<p>4 振替休日 ・八幡山緑日薬市薬座～6周年記念イベント～ 10:00-15:00(NTT駐車場及びひ愛染堂下いこの広場及びその周辺) ●竹田町商店街 振興組合 ☎62-3139 ・大分県レクリエーション大会 in 竹田 10:00～(竹田市総合運動公園 多目的広場)</p>										
5					<p>5 荻の里温泉休館日 ・第11回竹田市農業委員会総会 9:00～(竹田市本庁3階委員会室) ・おはなしのへや 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや) ・こころの健康相談 13:30-15:30(直入保健福祉センター)・要予約(☎63-3346)</p>								
6							<p>6 陽目の里「名水茶屋」休業日 ・【市民ギャラリー水琴館】写真展 『RAIZO TAKAKI』 9:00-17:00 ～11/10(日)まで</p>						
7									<p>7 竹田温泉「花水月」休館日</p>				
8										<p>8 おも城サイトミュージアム 13:00-15:00(岡城跡駐車場)※要予約:文化財課 ☎63-4818</p>			
9												<p>9 竹田市福祉大会 9:00-15:00(竹田市総合福祉センター) ・第46回荻地域女子バレーボール大会 9:00～開会(緑ヶ丘中学校体育館・荻公民館) ・童謡と絵本の会 10:00-11:30(佐藤義美記念館(このこのおうち))</p>	
10	<p>10 ・第37回直入地域ふるさと振興祭 9:00～開会(直入支所イベント広場)及び直入総合運動公園) ・第41回荻地域男子バレーボール大会 9:00～開会(緑ヶ丘中学校体育館・荻公民館) ・第34回回覧会(荻福祉健康エリア) ・大分県小児科福祉士会 9:00-17:30(新日職任金人材センター) ☎097-551-6555 ・平成25年度竹田市文化運動秋季芸術祭 11:00～(久住公民館くじゅうセンター) ☎63-4817 ・竹田市消防団竹田方面隊火災防制訓練 6:30～(管生地区第3分団管内)</p>												
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													

※ 1 竹田市歩こう会(山口) ☎62-2501
 ※ 2 竹田創生館 ☎62-4100

● 農地に係る各種申請受付の締め切りは、毎月15日です
 ● お問い合わせ 竹田市農業委員会事務局 ☎63-4815

<p>17</p> <p>・第14回たけた竹灯笼「竹楽」 16:30点火(竹田市城下町界隈)～17日まで ☎NPO法人里山保全竹活用百人会 ☎63-2638</p>	<p>18</p> <p>・萩の里温泉休館日</p>	<p>19</p> <p>・市民ギャラリー「水琴窟」 『川野和男版画展』 9:00-17:00～12/1(日)まで ・おはなしのへや 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや) ・合同企業面接相談会 13:30-16:00(竹田市総合社会福祉センター)</p>	<p>20</p> <p>・温泉療養文化館「御前湯」休館日 ・陽目の里「名水茶屋」休業日 ・豊肥成牛市場 9:30～せり開始(豊肥家畜市場) ・年金相談 10:00-15:00(竹田市高齢者いきいき交流センター) ・3歳児健康診査 13:00-13:20受付(竹田市総合社会福祉センター) ※15時30分終了予定 ・大分県行政書士会無料相談会(大分市) ☎097-537-7089 ・おはなしルーム 13:20～(竹田幼稚園えほんのへや)</p>	<p>21</p> <p>・竹田温泉「花水月」休館日 ・なかよし幼稚園パートII ※竹田・南部・直入幼稚園の園児 9:30～(南部小学校体育館・南部幼稚園) ・こころの健康相談 13:30-15:30(荻福祉健康エリア):要予約(☎63-3346)</p>	<p>22</p> <p>・おも城サイトミュージアム 13:00～(岡城跡駐車場)※要予約:文化財課 ☎63-4818</p>	<p>23</p> <p>勤労感謝の日 ・宮瀬橋移転新築15周年記念式典 13:00～(やすらぎ公園・山手)☎実行委員会 ☎62-4100 (※竹林開催期間中に記念写真真展を開催します)</p>
<p>24</p> <p>・第67回竹田市駅伝競走大会 10:00スタート(直入公民館スタート～竹田市文化会館フィニッシュ) ・奏リコーダーアンサンブル第9回定期演奏会 13:30開場/14:00開演(くじゅうサンホール) ☎事務局 ☎090-2078-6979</p>	<p>25</p> <p>・平成25年分給与所得の年末調整説明会【荻・久住・直入地域】 14:00-15:30(竹田市本庁舎3階会議室)</p>	<p>26</p> <p>・平成25年分給与所得の年末調整説明会【竹田地域】 10:00-11:30/14:00-15:30(竹田市本庁舎3階会議室) ・おはなしのへや 10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや) ・こころの健康相談 13:30-15:30(竹田市総合社会福祉センター):要予約(☎63-3346)</p>	<p>27</p> <p>・陽目の里「名水茶屋」休業日 ・5歳児健康診査 13:00-13:20受付(竹田市総合社会福祉センター) ※15:30終了予定</p>	<p>28</p> <p>・竹田温泉「花水月」休館日 ・こころの健康相談 13:30-15:30(久住保健センター):要予約(☎63-3346)</p>	<p>29</p> 	<p>30</p> <p>・第9回歳末助け合いチャリティショー (午前の部)10:00-12:00(開場9:00) (午後の部)14:00-16:00(開場13:00) (久住公民館くじゅうサンホール) ☎竹田市社会福祉協議会 ☎63-1544/竹田市福祉事務所 ☎63-4811</p>

◇12月上旬の主な予定

- 2日(月) ・【納期】固定資産税4期、国民健康保険税5期、介護保険料・後期高齢者医療保険料5期
- 3日(火) ・おはなしのへや10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや)
・HIV夜間検査17:00-19:00(豊肥保健所)
- 7日(土) ・市民公開講座 地域包括広報キャラバン隊「ご存知ですか?」“あなたのまちの地域包括ケア”13:30-15:30(竹田市総合社会福祉センター)
- 10日(火) ・おはなしのへや10:30-11:00(竹田市立図書館えほんのへや)
・3・6・12か月児健康診査(3か月・6か月)13:00-13:20受付(12か月)13:20-13:40受付(竹田市総合社会福祉センター)※15:00終了予定

11月行政相談員による行政相談所の開設一覧

地域	相談日	開催時間	開催場所
竹田	11月20日(水)		竹田市総合社会福祉センター 相談室
荻	11月21日(木)	10:00～12:00	竹田市荻支所 1階厚生室
久住	11月20日(水)		久住公民館 健康相談室
直入	11月20日(水)		竹田市直入支所 小会議室

●お問い合わせ 竹田市総務課行政係 ☎63-1111(内線211)

※行政相談に関するお問い合わせは、行政相談委員まで

((竹田)小河晴義☎62-3662、(萩)太田正一☎68-2480、(久住)本郷優☎76-1304、(直入)児玉龍明☎75-2426)

第37回直入地域ふるさと振興祭

県都大分市内まで30分で行ける直入地域は、炭酸泉と湧水の自然豊かな自然居住地域です。そして、毎年この時期に行われまます伝統ある地域振興祭は幅広い年齢層の地域住民が多く参加し、例年賑わいを見せています。直入地域の産業、文化、教育を振興し、地域活性化とともに元気なまちづくりのものとなっている「直入地域ふるさと振興祭」に遊びに来てください。市内外からの多くの方のご来場、心よりお待ちしております。

日時 11月10日(日)9:00開会

場所 竹田市直入支所前 イベント広場ほか

ステージイベント ①園児、児童、生徒によるステージ発表 ②直入地域伝統芸能披露 ③郷土伝承踊り

④タヒチアンダンス ⑤農産物せり市 ⑥お楽しみ抽選会

イベント広場 ①豊後直入牛の焼肉 ②農産物品評会 ③味の広場(直入地域・食の祭典)

④県立芸術文化短期大学竹田キャンパスワークショップ ⑤出張植木市

⑥チェーンソーアート ⑦苗木無料配布 ⑧その他イベントPRブース

展示広場 ①園児・児童・生徒作品展 ②直入地域写真展示 ③木彫、DIYサービス利用者作品展 ほか

その他イベント ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会

●お問い合わせ 直入支所いきいき市民課 ☎0974-75-2211

平成26年度畜産後継者養成研修生募集

大分県における中核的農業者として、地域社会の発展に貢献できる後継者を養成するため、研修生を募集します。

1. 募集対象：将来、畜産経営を志す新規学卒者若しくは社会人経験者等
2. 募集定員：5名（性別不問）定員になり次第募集終了
3. 研修期間：平成26年4月～平成27年3月（1年間）
4. 受付期間：平成25年9月2日～平成26年2月28日
5. 申込方法：ホームページ（大分県畜産研修センターで検索）の募集要項に沿って書類に必要事項を記入のうえ、畜産研修センターへ出願してください。
6. 選考日等：平成25年12月より随時面接により選考。
7. 研修内容：畜産経営に必要な知識、技術について実践を通して習得する。
8. 取得可能資格：家畜人工授精師、農業用大型トラクター免許等
9. 研修場所：竹田市久住町 大分県畜産研修センター（畜産研究部内）
10. 経費等：宿泊費（光熱水費含）及び授業料不要全寮制（個室）
※食費並びに生活費・取得免許費用等自己負担

●お問い合わせ 大分県畜産センター（大分県農林水産研究指導センター畜産研究部）〒878-0201 竹田市久住町大字久住3989-1（企画指導担当）☎76-1214
竹田市畜産センター ☎76-0021

住宅

公営住宅の入居者を募集します

一般住宅の募集

竹田地域 玉来第1団地：3戸（単身可）
玉来第2団地：1戸（単身可）

〔申込資格〕

- ・世帯全員の合計所得が政令月収15万8千円以下の方（状況に応じて異なります）
- ・現に住宅に困っていることが明らかな方
- ・市税等の滞納のない方
- ・入居者、同居する親族が、暴力団員でない方

特定公共賃貸住宅の募集

竹田地域 七里第2団地（35歳以下の単身のみ）：1戸

〔申込資格〕

- ・所得の政令月収 単身向：15万8千円以上25万9千円以下の方
- ・市税等の滞納のない方
- ・入居者が暴力団員でない方

随時募集中の住宅

竹田地域（一般住宅） 県営豊岡住宅

竹田地域（特定公共賃貸住宅） 七里団地（35歳以下の単身のみ）、七里第2団地（35歳以下の単身のみ）

※詳細についてはセンターへお問い合わせください。

■申込方法

竹田市営住宅管理センター（本庁建設課内）または各支所産業建設課に備え付けの入居申込書に必要事項を記入のうえ、提出してください。

■募集期間

平成25年11月11日（月）から11月22日（金）まで

※土・日・祝日を除く

※市営住宅管理センターは、火・木曜日は午後7時まで受け付けします。

⑥ 2013年11月発行

■抽 選 11月27日（水）10:00～（竹田市本庁舎）

■入居条件

入居時に敷金（家賃額の3か月分）の納付および連帯保証人（原則として市内在住者）が2名必要です。

■入居時期…12月中旬ごろ

※大分県住宅供給公社のホームページで詳細を公開しています。

●お問い合わせ 竹田市営住宅管理センター（竹田市建設課内）☎63-4400

商品券

元気創出プレミアム商品券販売!!

この度「中九州高規格道路竹田・朝地間着工」を記念して地域経済を元気にするため、「10%プレミアム（割増）付き“元気創出プレミアム商品券”」を販売します!!

【地域商品券の概要】

発行冊数 18,000冊（1冊500円券×22枚 11,000円分）

販売価格 1冊10,000円

販売開始日 10月19日（土）から 売り切れ次第販売終了

販売場所・時間

竹田商工会議所 9:00～17:00

竹田町商店街振興組合（清和館） 9:00～16:00
（毎週火・水曜日のみ販売）

九州アルプス商工会及び各支所 9:00～17:00

※土・日・祝日を除く

有効期限 平成25年10月19日（土）～平成26年1月31日（金）

販売限度額 お1人様 8万円まで

●お問い合わせ 竹田商工会議所 ☎63-3161、九州アルプス商工会（久住本所）☎76-0151

住生活総合調査

12月1日、全国で住生活総合調査が行われます。

竹田市での調査は、10月に行われた住宅・土地統計調査の115指定調査区の中から4調査区・32世帯を対象に、居住環境を含めた住生活全般に関する実態や居住者の意向・満足度等を総合的に調査するものです。調査の結果は住生活基本法に基づく住生活の安定・向上に係る総合的な施策を推進するための基礎資料となります。

調査員がお宅にお伺いしますので、調査へのご協力をお願いします。

●お問い合わせ 竹田市建設課 庶務係 ☎63-4808

講座・講習

「職業生活設計セミナー」のご案内（無料）

厚生労働省から「生涯現役社会実現環境整備事業」の委託を受け、高齢者が健康で、意欲と能力がある限り年齢に関わりなく働き続けることができるような、ライフプラン作り等ができるセミナーを開催します。

将来の職業生活設計を考え、自発的なキャリア形成を行っていくための知識・情報提供セミナーとなっておりますので、ぜひお越しください。

日 時 11月29日（金）13:00～16:30

場 所 エイトピアおおの第1会議室

内 容 ①高齢期に知っておきたい社会保険制度
②税金の基礎知識
③セカンドライフのマネープラン

※参加希望の方は公益財団法人大分県総合雇用推進協会（阿南）までご連絡ください。（☎097-532-8486）

市民公開講座 地域包括ケア広報キャラバン隊

「ご存知ですか? “あなたの街の地域包括ケア”」

大分県や竹田市が取り組んでいる地域包括ケアについてご説明します。介護予防体操の実演指導や健康チェックコーナーもあります。

講師 大分県高齢者福祉課担当者・竹田市長・竹田地域リハビリテーション広域支援センター職員

日時 12月7日(土) 13:30～15:30 ※参加無料

場所 竹田市総合社会福祉センター

対象 一般、医療・保健・福祉関係者

主催 豊肥圏域竹田地域リハビリテーション広域支援センター(大久保病院)

大分県リハビリテーション支援センター(湯布院厚生年金病院)、大分県、竹田市

●お問い合わせ 豊肥圏域竹田地域リハビリテーション広域支援センター(大久保病院リハビリ室) ☎64-7777

健康

「健康フェスタ」を開催します

県では、県民一人ひとりが健康で活力あふれる人生を送るために、生活習慣を見直すきっかけづくりとして「健康フェスタ」を開催します。

日時 11月9日(土) 10:00～16:00

場所 iichiko総合文化センターグランシアタ・アトリウムプラザ

内容 講演①「タニタ健康プロジェクト～おいしい社会の秘密～」、講演②「美味しく食べて健康に～かるしおのすすめ～」、知事感謝状贈呈、各種コンクール表彰、事例発表「減塩を実演する町ぐるみの取り組みin呉」、お楽しみ抽選会、各種健康体験ブース(食育SATを利用した食事バランスチェック等)

●お問い合わせ 大分県福祉保健部健康対策課 ☎097-506-2666 (平日8:00～17:15)

放送大学

放送大学「4月生」を募集します

創立30周年を迎えた放送大学では、平成26年度第1学期(4月入学)の学生を募集しています。

放送大学はテレビ等の放送やインターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

[オープンキャンパス]

12月1日(日)・12月21日(土)

1月5日(日)・2月9日(日)・2月15日(土)

個別相談も随時受け付けています。

出願期間は2月28日(金)まで。

資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学大分学習センター(☎097-549-6612)までご請求ください。放送大学ホームページでも受け付けております。

求人

竹田市ふるさとハローワーク ☎63-1101

①ホールスタッフ1人18～25万円 ②土木作業員3人19.5～21万円 ③接客係2人15～20万円 ④営業1人15～30万円 ⑤介護補助2人12.9万円 ⑥建築塗装作業員1人15～20万円 ⑦経理事務員1人15～25万円 ⑧保育士1人14.3万円 ⑨自動車整備士1人16～23万円 ⑩営業事務1人13.5～15.1万円 ⑪生鮮担当1人25～30万円 ⑫施設メンテナンス・管理1人18～22万円

[パート求人(時給)]

⑬配車係1人664円 ⑭厨房員2人700～800円 ⑮介護職員2人700～850円 ⑯事務職員1人670円 ⑰清掃員2人700～750円 ⑱接客係1人700円 ⑲菓子製造及び販売1人750～850円 ⑳パソコン入力担当2人700円 ㉑正・准看護師1人800～1200円 ㉒バス運転手1人952円 ㉓作業員1人1000円 ㉔配達員1人800円

豊肥保健所からのお知らせ

つつが虫病に気をつけましょう!

つつが虫はダニの一種です。

10月～12月はつつが虫の発生が多いため、これからの時期に注意が必要です。

【症状】

発病・つつが虫の刺し口・発疹の症状があるときはすぐに病院を受診しましょう。

(その他の症状:体がだるい・頭痛・寒気・食欲低下・吐き気・下痢)

【かまれた時は…】

- ・症状がある時はすぐに病院に行くこと
- ・つつが虫は自分で無理に取らず病院で取ってもらうこと

また、山や草むらで作業するときは長袖・長ズボンなど肌を露出しない服装を心がけましょう。

●お問い合わせ

豊肥保健所 地域保健課 ☎0974-22-0162

休日及び夜間の在宅当番医院

大久保病院 ☎ 64-7777

受付時間 平日夜間 18:00～21:00、土曜日 13:00～21:00、休日 8:30～21:00

竹田医師会病院 ☎ 63-3241

受付時間 平日（月・水・金曜日）の夜間18:00～21:00
※但し、休日及びお盆は除く

上記以外の曜日や時間帯でも電話相談の上、診察可能と判断すれば可能な限り対応します。

- 注意事項**
- ・かかりつけの病院がある場合は、できるだけそこで診てもらおうようお願いします。
 - ・事前に症状、年齢、その他必要事項を病院へ電話連絡したうえで受診をしてください。
 - ・症状が重い場合は救急車を呼んでください。

小児科外来休日当番医院

当番日	医療機関	電話番号
11月2日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
11月3日(日・祝)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
11月4日(月・振)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
11月9日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
11月10日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
11月16日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
11月17日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
11月23日(土・祝)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
11月24日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121
11月30日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
12月1日(日)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
12月7日(土)	みやわき小児科(三重町)	0974-24-0230
	三重東クリニック(三重町)	0974-22-6333
	竹田市立こども診療所	0974-63-3838
12月8日(日)	豊後大野市民病院(緒方町)	0974-42-3121

受付時間 8:30～11:30（こども診療所は9:00～11:30）

診療時間 9:00～12:00（三重東クリニックは8:30～12:00）

※土曜日については、上記以外にも診療を行っているところがあります。

○豊後大野市民病院（☎ 0974-42-3121）<http://ogatahp.ddo.jp/>

○みやわき小児科（☎ 0974-24-0230）<http://www.miyawaki-kodomo.com/>

○三重東クリニック（☎ 0974-22-6333）<http://www.sekiaikai.jp/index.html>

○竹田市立こども診療所（☎ 0974-63-3838）<http://www.city.taketa.oita.jp/>

○大分県豊肥保健所（☎ 0974-22-0162）

受診時の注意 当番医院は、やむを得ず変更になる場合があります。あらかじめ当番医院または竹田市消防署（☎63-0119）にお電話で確認されるようお願いいたします。また、院外薬局が休みの場合は、あらかじめ用意されて約束処方となることがありますので、ご了承ください。

歯科休日当番医院

当番日	医療機関	電話番号
11月3日(日・祝)	高山歯科医院(竹田)	0974-63-2561
11月4日(月・振)	竹下歯科医院(竹田)	0974-62-2662
11月10日(日)	長湯ごとう歯科(直入)	0974-75-3001
11月17日(日)	歯科筑紫医院(久住)	0974-76-0024
11月23日(土・祝)	ふじさわ歯科医院(竹田)	0974-64-1118
11月24日(日)	まつもと歯科クリニック(竹田)	0974-62-2400

※診療時間 9:00～12:00（受付11:30まで）

※診療時間を確認のうえ、受診してください。

○大分県歯科医師会 ☎ 097-545-3151

<http://www.oita-dental-a.or.jp/>



◇たけた市民チャンネル11月特番

第5回 川端康成記念講演会

10月3日(日)に開催された、第5回川端康成記念講演会の模様を特番でお届けします。今回は、作家・童門 冬二先生を講師に迎え、「歴史が現代に語りかけるもの」と題して講演が行われました。

放送日 11月10日、17日、24日、12月1日 日曜日
14:00～

第65回 瀧廉太郎を偲ぶ音楽祭

11月1日(日)に開催されました、第65回瀧廉太郎を偲ぶ音楽祭の模様を第1部・第2部に分けてお届けします。第1部では、幼稚園・小学校・支援学校の模様を、第2部では、中学校の模様をお届けします。

放送日 【第1部】11月9日、16日、23日、30日
土曜日 20:00～
【第2部】11月10日、17日、24日、12月1日
日曜日 20:00～

※都合により放送時間を、変更する場合がありますのでご了承ください。

みなさんの健康を支える国民健康保険

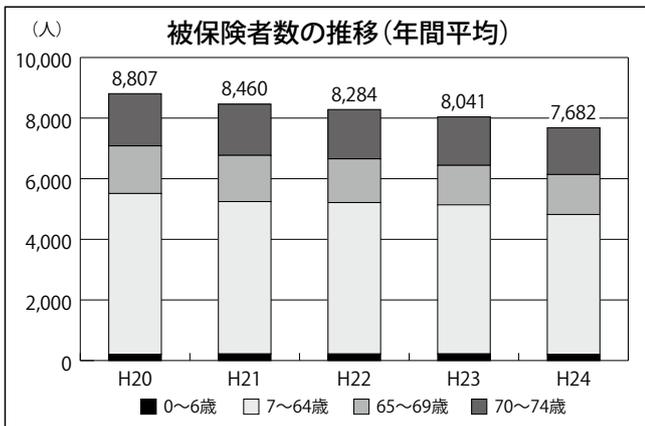
平成24年度国民健康保険の運営状況

国民健康保険（国保）は、職場などの健康保険や後期高齢者医療制度に加入していない方を対象とした医療保険で、加入者が納める国民健康保険税（保険税）や国・県の支出金などをもとに、竹田市が運営しています。

●加入者の状況

平成24年度の年間平均の被保険者数は7,682人で、市民の約3割の方が国保に加入していました。

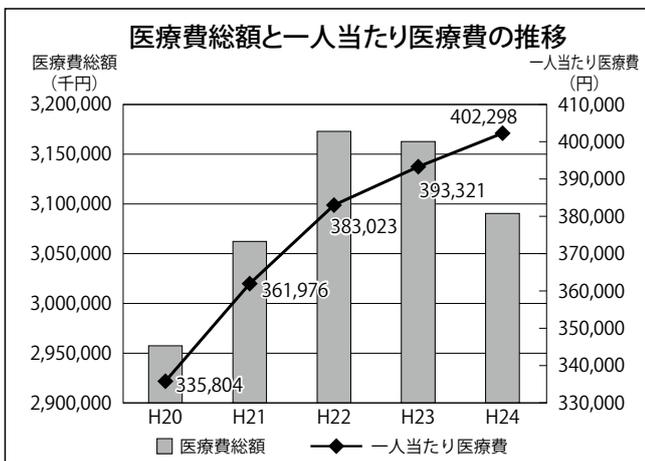
国保の加入者は、75歳に到達すると後期高齢者医療制度に移行するため、被保険者数は、減少傾向となっています。



●医療費の状況

平成24年度の医療費総額は、約30億9千万円で、前年度と比較すると約7千万円減少しました。

しかし、一人当たり医療費は、前年度に比べ約9千円増え、402,298円になりました。一人当たり医療費は年々増えています。



●歳出総額は、約37億1,700万円

国保の運営経費（歳出）は、前年度に比べ約5,900

万円減少し、約37億1,700万円になりました。

この中で最も大きな割合を占めるのが、加入者の医療費などに充てる保険給付費で、約26億円でした。歳出の7割を占め、前年度に比べて約5,300万円減少しています。これは、加入者の一人当たり医療費は増加していますが、加入者数が減少していることによるものです。



●歳入総額は、約38億7,600万円

歳入の総額は、前年度と比べて9,600万円増えて約38億7,600万円です。

このうち、2割にあたる約7億5,500万円が加入者の皆さんが納めた保険税です。前年度に比べ約2,800万円減少しています。

●歳入歳出差引額は、約1億5,900万円

歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は、約1億5,900万円です。

黒字になった主な要因は、前期高齢者交付金等が過交付となったため、過交付分は平成25・26年度に精算します。

■医療費の増加を抑える特定健診の受診を

医療費増加の主な原因は、高齢化の進展に加え、糖尿病などの生活習慣病にかかる人が増えていることです。医療費の給付を受ける人が増えると、加入者皆さんの保険税の負担も重くなります。

特定健診を受けて、生活習慣病を予防しましょう。

■保険税の納付は納期限までに

国保は、加入者の皆さんが、保険税を負担しあって、医療機関にかかるときの医療に充てようという「相互扶助」の制度です。

保険税は、国保の運営に欠かせない貴重な財源ですので、納期限までに納付してください。

■納付ができない場合は、早めに相談を

事情により、保険税を納期限までに納付することが困難な場合は、早めにご相談ください。

●お問い合わせ

・保険税の納付に関すること

竹田市税務課管理係 ☎63-4803

・特定健診に関すること

竹田市保険課国保・高齢者医療係 ☎63-4809

国保ではこんな給付が受けられます

1 お医者さんにかかるとき

医療機関の窓口で保険証などを提示すれば、年齢などに応じた負担割合を支払うだけで、診察を受けることができます。



※1：本来2割ですが、当面1割に据え置かれています。

■一部負担金の減免

災害などの特別な事情により収入が著しく減少し、一定基準以下となった場合、医療機関の窓口で支払う一部負担金の猶予・減額・免除が受けられることがあります。

詳しくは、保険課までお問い合わせください。

2 入院したときの食事代

住民税非課税に該当する世帯の人については、認定証を医療機関の窓口提出すると、入院中の食事代の減額を受けることができます。減額後の金額は、下表のとおりです。



○入院食事代の標準負担額（1食当たり）

所得区分	入院日数	食事代
住民税非課税世帯(70歳未満)及び低所得者Ⅱ(70歳～74歳)	90日までの入院	210円
	過去12か月で90日を超える入院	160円
低所得者Ⅰ(70～74歳)		100円

- ・低所得者Ⅱ：世帯主及び国保被保険者が住民税非課税の人
- ・低所得者Ⅰ：世帯主及び国保被保険者が住民税非課税で、世帯の所得が一定基準以下の人

○申請に必要なもの

- ・保険証
- ・印かん
- ・長期入院の場合は、過去1年間で90日を超える入院日数が確認できる書類

3 いったん全額自己負担したとき

次のような場合、医療費はいったん全額自己負担となりますが、国保に申請して審査で認められれば、自己負担分を除いた額があとから払い戻されます。



申請手続きについては、保険課までお問い合わせください。

- ①やむを得ず保険証を使わないで診療を受けたとき
- ②医師が認めたあんま、はり、灸、マッサージ
- ③医師の指示で購入した治療用補装具
- ④海外で診療を受けた場合 など

4 子どもが生まれたとき

被保険者が出産したとき、出産育児一時金として1子につき、39万円（産科医療補償制度に加入している医療機関で出産した場合は3万円加算）が支給されます。原則として国保から医療機関に直接支払われます（直接支払制度）。妊娠12週（85日）以降であれば、死産・流産でも支給されます。

直接支払制度を利用しなかった場合や、直接支払制度を利用した場合で、出産費用が上記金額に満たない場合は、国保の窓口で申請が必要です。

○申請に必要なもの

- ・保険証
- ・出産費用の領収書
- ・印かん
- ・世帯主の振込口座番号のわかるもの



5 被保険者が亡くなったとき

被保険者が亡くなったとき、申請により葬祭を行った人に葬祭費が2万円支給されます。

○申請に必要なもの

- ・保険証
- ・印かん
- ・葬儀を行った人が確認できる書類（会葬礼状等）
- ・葬儀を行った人の振込口座番号のわかるもの



6 医療費が高額になったとき

医療機関で支払った医療費の自己負担額が、自己負担限度額を超えた場合、申請により超えた分が支給されます。(詳しくは、市報8月号をご覧ください。)

■高額な医療費がかかるときの窓口負担の軽減

入院や高額な外来治療を受ける場合は、あらかじめ国保の窓口で「限度額適用認定証」(住民税非課税世帯の人は、「限度額適用・標準負担額減額認定証」)の交付を申請してください。交付された認定証を医療機関の窓口で提示することにより、窓口での支払いが限度額までとなります。

なお、70～74歳の住民税課税世帯の人は「高齢受給者証」を医療機関の窓口で提示することで、支払いが自己負担限度額までとなります。

○申請に必要なもの

- ・保険証
- ・印かん

■厚生労働大臣が指定する特定疾病の場合

高額な治療を長期間継続して受ける必要がある厚生労働大臣の指定する特定疾病の人は、申請によって交付される「特定疾病療養受療証」を医療機関の

窓口で提示すれば、自己負担額は1か月10,000円(70歳未満の上位所得者については20,000円)までとなります。

○厚生労働大臣の指定する特定疾病

- ・先天性血液凝固因子障害の一部
- ・人工透析が必要な慢性腎不全
- ・血液凝固因子製剤の投与に起因するHIV感染症

○申請に必要なもの

- ・医師の意見書
- ・保険証
- ・印かん



7 医療費も介護費も高額になったとき

医療費と介護費の年額(8月～翌年7月)がともに高額になった世帯では、国保と介護保険の限度額適用後、さらに合算して限度額を超えた分が、高額介護合算療養費としてあとから支給されます。

支給対象者には、1月頃にお知らせをお送りします。

●申請場所

竹田市保険課国保・高齢者医療係、または各支所いきいき市民課

お薬代の自己負担軽減に ジェネリック医薬品をご利用ください

ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、先発医薬品(新薬)の特許が切れた後に、それと同じ有効成分で製造・販売される医薬品です。先発医薬品と比較して安価なものが多いため、医療費の自己負担の軽減や医療保険財政の改善につながります。

ただし、すべての医薬品にジェネリック医薬品があるわけではありません。また、ジェネリック医薬品は、先発医薬品と有効成分や効果などは変わりませんが、使用されている添加物が異なることもあります。そのため、人によっては体質に合わない場合もありますので、**ご使用にあたっては、医師・薬剤師とよくご相談ください。**

ジェネリック医薬品希望カードは、保険課、及び各支所いきいき市民課にも置いてありますのでご自由にお取りください。

●お問い合わせ 竹田市保険課 国保・高齢者医療係 ☎63-4809

切り取ってご利用ください。

医師・薬剤師の皆様へ

ジェネリック医薬品
希望カード

私はジェネリック医薬品を希望します

氏名

●変更可能であれば、ジェネリック医薬品へ変更をお願いします。

※ジェネリック医薬品の品質・有効性・安全性等に関するお問い合わせ

(独)医薬品医療機器総合機構(PMDA)
<すり相談> ☎03-3506-9457

やめよう 重複受診

～賢い病院のかかり方～

重複受診とは同じ病気で複数の病院にかかることです。重複受診はムダがあるだけでなく、治療に支障をきたすこともあります。

重複受診の問題1

初診をくり返す度に「初診料」がかかります

病気やけがで初めてお医者さんにかかるときの基本料金を「初診料」といいます。

初診料は診療所でも大病院でも一律2,700円で、2回目以降お医者さんにかかるときの料金である「再診料」は初診料の約1/4程度です。

診療に納得がいかないからといってすぐに病院を変えてしまうと、何度も初診料がかかってしまうことになります。

■入院用のベッドが200床未満の病院の場合

初診	A病院	2,700円	初診	A病院	2,700円
再診	A病院	690円	初診	B病院	2,700円
再診	A病院	690円	初診	C病院	2,700円

合計**4,080円**

合計**8,100円**

重複受診を3回すると…**4,020円**も違います！

重複受診の問題2

同じ診療・検査を受けることで体に負担がかかり、時間もムダになります

かかりつけ医からの紹介で病院が変わった場合は、前の病院での経過や検査結果などが紹介状に記載され、病院間できちんと情報が共有されるため、重複して検査を受ける必要がなくなります。

しかし、重複受診では検査や診療を最初からやり直すことになります。検査を受けるだけでも体へ負担はかかり、時間も費やされてしまいます。

また、病院間で情報が共有されないまま、診療を受けると注射や投薬の重複で思わぬ副作用がでることもあります。



重複受診のムダや危険を防ぐポイント

かかりつけ医をもつ

自分や家族の健康状態を把握してくれている、「かかりつけ医」がいると安心です。

日々の健康管理やいざというときのために、かかりつけ医をもつことをおすすめします。

納得いくまで質問する

毎月検査をしているが検査結果は知らないという方が多くいます。検査目的や治療方法など気になることはあいまいにせず、きちんと質問しましょう。

経過を伝えて受診する

他の医療機関で診察を受ける場合は、それまでの経過を事前に伝えましょう。

特に、服用している薬がある場合は重複を防ぐために、おくすり手帳などを活用し必ず伝えましょう。

私たち一人ひとりが意識して行動することで、増え続ける医療費を抑えることができます。生活習慣を改善し、医療費の適正化を心がけることで健康寿命をのばし、いつまでも安心して医療を受けられるようにしましょう。

国保では、みなさんの健康づくりをサポートしています。電話等によるご相談も随時受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

●お問い合わせ 竹田市保険課国保・高齢者医療係 ☎63-4809